

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 06 月 28 日

花王健康保険組合

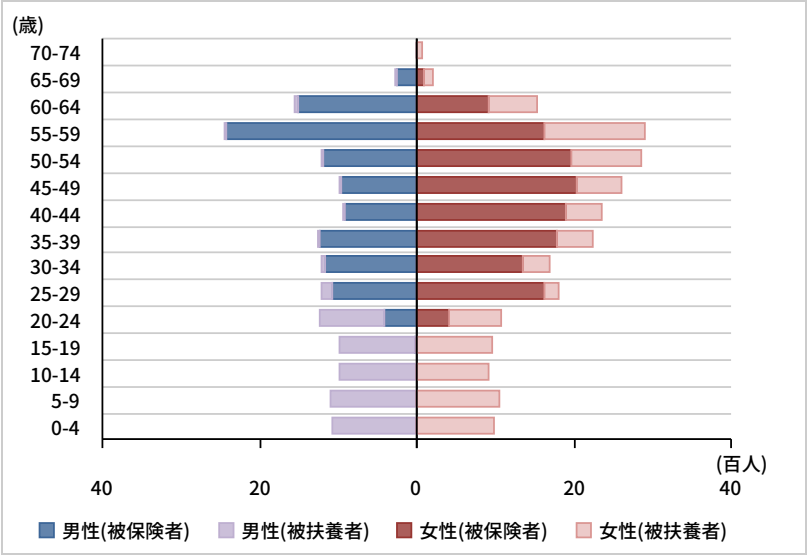
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	20649		
組合名称	花王健康保険組合		
形態	単一		
業種	化学工業・同類似業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	24,380名 男性43.999179655455% (平均年齢45.91歳) * 女性56.000820344545% (平均年齢43.05歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	38,764名	-名	-名
適用事業所数	16カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	0カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	9‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	10	23	-	-	-	-
	保健師等	57	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	18,500 / 19,802 = 93.4 %				
		被保険者	15,432 / 15,656 = 98.6 %				
		被扶養者	3,068 / 4,146 = 74.0 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	1,426 / 2,167 = 65.8 %				
		被保険者	1,406 / 1,915 = 73.4 %				
		被扶養者	20 / 252 = 7.9 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	2,779	114	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	42,132	1,728	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	12,849	527	-	-	-	-
	疾病予防費	814,201	33,396	-	-	-	-
	体育奨励費	45,837	1,880	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	917,798	37,646	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	14,774,135	605,994	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	6.21		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	12人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	405人	25～29	1,064人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,165人	35～39	1,233人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	924人	45～49	951人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,180人	55～59	2,414人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,520人	65～69	247人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	7人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	410人	25～29	1,627人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,353人	35～39	1,789人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,907人	45～49	2,026人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,961人	55～59	1,625人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	920人	65～69	98人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	1,070人	5～9	1,088人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	994人	15～19	955人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	823人	25～29	136人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	44人	35～39	18人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	13人	45～49	13人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	25人	55～59	20人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	38人	65～69	23人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	8人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	975人	5～9	1,056人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	908人	15～19	957人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	673人	25～29	194人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	332人	35～39	449人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	448人	45～49	562人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	886人	55～59	1,271人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	625人	65～69	103人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	58人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・被保険者数約25,400名、被扶養者約15,000名の大規模な健保組合である。
- ・本社・工場を主体とした事業所、販売会社を主体とした事業所が全国に点在しているため、加入者も全国に点在している。
- ・被保険者・被扶養者あわせて、6割は女性の加入者となっている。
- ・年齢分布では、55歳～59歳の男性被保険者が突出しており、50歳～59歳の女性被保険者・被扶養者が多くなっている。
- ・前期高齢者の加入者は1.2%と低い。
- ・健保組合に医療職は不在であるが、事業主は全国の拠点を21ヶ所の健康相談室で対応

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
・ 予防・介入可能な生活習慣病、がん、歯科対策を目的とした保健事業が多い
・ 健保と事業主が共同事業で実施する保健事業が多い
・ 健康マイレージ、健康づくり事業など、健康の維持増進に着目した保健事業も展開している

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	健康経営の取組み
加入者への意識づけ	
特定健康診査事業	健康情報提供（ICT）
保健指導宣伝	健康情報提供（広報誌）
保健指導宣伝	メンタルヘルスマネジメント研修（1）
保健指導宣伝	専門スタッフ研修（2）
予算措置なし	女性の健康サポート
予算措置なし	働き方改革への推進
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
疾病予防	生活習慣病健診（被保険者）
疾病予防	生活習慣病健診（被扶養者）
疾病予防	健診事後フォロー
疾病予防	前期高齢者対策
疾病予防	歯科検診・勧奨
疾病予防	喫煙対策
疾病予防	感染症予防対策
疾病予防	後発医薬品の使用促進／差額通知
体育奨励	健康づくり企画（全社）
体育奨励	健康づくり（運動・栄養・教育）／インセンティブ事業
予算措置なし	退職予定者への健康づくりへの働きかけ
事業主の取組	
1	新入社員教育
2	メンタルヘルスマネジメント研修
3	メンタルヘルセルフケア研修
4	定期健康診断
5	雇用時健診
6	海外赴任前・帰国時健診
7	海外駐在者健診
8	特定保健指導
9	禁煙支援
10	ストレスチェック高ストレス者対応（旧：メンタルヘルスクリーニング面談）
11	カウンセリング
12	職場復帰支援
13	就業上の配慮

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	1	健康経営の取り組み	<目的> 健康経営の推進および社員と家族の健康維持・増進 <概要> ・事業主との健康課題・推進計画の共有と施策検討 ・コラボヘルス健康事業による健診・レセプトデータ分析検証 社員と家族の健康維持増進をめざして、アウトプットはット指標は会議・検討会の計画に基づく実施率。アウトカム指標は実施結果の報告。	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者		- R4年4月～R5年3月	事業主とのコラボヘルスが継続されており企画立案にあたっては連携した施策が行われている	課題からの優先順位づけ	5
加入者への意識づけ												
特定健康診査事業	2	健康情報提供(ICT)	<目的> 加入者へわかりやすい情報提供および教育 <概要> ・ＩＣＴを活用した付加価値の高い健康情報の提供 ・冊子を活用した健康結果の情報提供と健康への啓発（教育） ・健康イベント等の活動ツール 自身の健康状態を把握し、健康活動への活用につなげるため、アウトプット指標はＷＥＢサイトのログイン率、アウトカム指標はメタボリックシンドローム該当者割合の減少	母体企業	男女	18～74	被保険者		R4年4月～R5年3月 ・WEBサイトログイン率 59.8%	健康づくり（イベント）や健診結果など、ＩＣＴ活用して情報活用が行われている。 インセンティブポイント付与により活用範囲が広がる	家族・任継者の利用について今後検討が必要	4
保健指導宣伝	5	健康情報提供(広報誌)	<目的> 健康・健保情報の発信、健康への意識の向上 <概要> 機関誌の発行（年2回） 健保情報の発信のため、アウトプット指標は発行回数。アウトカム指標は満足度調査の実施。	全て	男女	18～74	被保険者,任意継続者	1,042	R4年5月・R4年10月発行 ・社内イントラにて全社に公開 ・任意継続者全員に紙媒体を発送	トップおよび社員などの健康活動や取組みを身近な情報として紹介 健保からは予算・決算のみならず、医療費適正にむけた健康事業や役立つ活動を中心に情報を提供	社員配布のため、家族へのより積極的な啓発を検討	5
	3,5,6	メンタルヘルスマネジメント研修(1)	<目的> ワークエンゲイジメントの高い社員、活性化職場の増加 <概要> ストレスチェックを実施。事業主の管理職向けセミナーの開催。 社員・職場のストレスを減少するために、アウトプット指標はストレスチェック受診率、アウトカム指標は高ストレス者率。	全て	男女	35～（上限なし）	被保険者	1,921	R4年4月～R5年3月随時 ストレスチェック受診率：97.0%	外部専門講師により知識の習得と自身のマネジメントする機会の拡大	特段なし	4
	5	専門スタッフ研修（2）	<目的> 新任者を中心とした保健指導の実施人員の教育 <概要> 被保険者（社員）の指導は事業主に委託するため、新規担当は研修参加。 保健指導実施人員の教育が目的であるため、アウトプット指標は新規担当の受講率、アウトカム指標は保健指導実施率。	全て	男女	18～74	被保険者		- R4年4月～R5年3月	参加希望者の増加	研修機関の評価および内容見直し	5
	予算措置なし	2,3	女性の健康サポート	<目的> 女性特有がんの早期発見・早期治療 <概要> 年代・ライフステージに応じた健康づくり支援として情報発信や相談窓口の周知、がん検診の啓発 女性特有がんの早期発見のため、アウトプット指標は子宮がん・乳がん検診受診率、アウトカム指標は検診による発見率	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者,任意継続者		R4年4月～R5年3月 - 子宮がん検診受診率：78.0% 乳がん検診受診率：86.7%	産業医および保健スタッフによるメールなども活用した対応強化 女性相談窓口の設置 マガジン等の定期的な発信	働く環境

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	6	働き方改革への推進	<目的> 脳・心臓疾患、メンタル疾患の減少 <概要> 長時間労働者を対象に産業医と健康面談を実施 アウトプット指標は休暇取得率、アウトカム指標は長時間労働者の削減率	全て	男女	18～74	被保険者		R4年4月～R5年3月 - 休暇取得率：85.8% 長時間労働者数の削減率：29.2%	事業主の積極的な促進によりワークライフバランスが推進されている	課題及び阻害要因 働きやすい改革の継続展開中	5
個別の事業												
特定健康診査事業	3,4	特定健康診査（被保険者）	<目的> 健康維持増進・早期発見 <概要> 外部事業者に健診事務を代行し、提携医療機関または事業場内で集団検診にて受診。 健診受診率を上げて、生活習慣病の予防を図るため、アウトプット指標は特定健診受診率、アウトカム指標は生活習慣改善に起因する医療費割合。	全て	男女	35～74	被保険者		・ 受診推奨期間：R4年4月～R5年3月まで 特定健診受診率：98.5%	・ 事業主との協力体制 ・ PDCAサイクルの展開 ・ 健康づくり連絡会による進捗確認	・ 早期受診の促進方法	4
	3,4	特定健康診査（被扶養者）	<目的> 健康維持増進・早期発見 <概要> 外部事業者に健診事務を代行し、提携医療機関または他健保との共同開催による集団検診 健診受診率を上げて、生活習慣病の予防を図るため、アウトプット指標は特定健診受診率、アウトカム指標は2年連続未受診者数の割合削減	全て	男女	35～74	被扶養者,任意継続者	2,305	・ 受診推奨期間 R4年4月～R5年3月まで 特定健診受診率：72.8%	・ ご自身にあった受診方法を選択しやすいように5コース用意（パート先での受診含む） ・ 未受診者への受診勧奨の案内 計3～5回／年 ・ 「専門職による対面での健診結果の説明」は健診当日に委託先の医療機関で実施含む	・ 2次検査後の確認方法	4
特定保健指導事業	3,4	特定保健指導（被保険者）	<目的> 生活習慣病改善によるメタボリックおよび予備群のリスク低減 <概要> 生活習慣病予防及び保健指導対象者の減少を目指すため、アウトプット指標は特定保健指導実施率、アウトカム指標は特定保健指導対象者率。	全て	男女	35～74	被保険者	37,103	・ 期間：R4年4月～R5年3月まで 特定保健指導実施率：73.4% 対象者：1,915人、実施者：1,406人	・ 事業主との協力体制 ・ PDCAサイクルの展開 ・ 健康づくり連絡会による進捗確認 ・ 健診当日の特定保健指導初回面談を開始（2020年度より）	・ 会社貸与パソコン、スマホ・タブレット等がない方へのICT面談	4
	3,4	特定保健指導（被扶養者）	<目的> 生活習慣病改善によるメタボリックおよび予備群のリスク低減 <概要> 外部委託および案内等は健保と外部委託機関と共同実施 生活習慣病予防に向け保健指導対象者の減少を目指すため、アウトプット指標は特定保健指導実施率、アウトカム指標は特定保健指導対象者率。	全て	男女	35～（上限なし）	被扶養者		・ ご案内送付期間：R4年4月～R5年6月まで 特定保健指導実施率：7.9% 対象者：252人、実施者：20人	・ 2018年1月より複数コースの選択制で実施（自宅近くのカフェでの対面、ICT面談、医療機関での対面） ・ 該当した保健指導チェック項目の可視化やコース選びに迷わないような案内チラシの作成 ・ 健診当日の特定保健指導初回面談を開始（2021年度より）	・ 定期的にコースの評価、見直しが必要	3
疾病予防	3	生活習慣病健診（被保険者）	<目的> 早期発見・早期治療 <概要> 35歳以上を対象として事業主と共同で実施。がん検診も同時実施。 健診受診率を上げて、生活習慣病やがんの予防を図るため、アウトプット指標は健診受診率、アウトカム指標は生活習慣病に起因する医療費割合	全て	男女	35～74	被保険者	523,459	・ R4年4月～R5年3月まで ・ 受診者：19,041名	・ 事業主との協力体制 ・ PDCAサイクルの展開 ・ 健康づくり連絡会による進捗確認	・ 早期受診の促進方法	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	生活習慣病健診（被扶養者）	<目的> 早期発見・早期治療 <概要> 35歳以上を対象として事業主と共同で実施。がん検診も同時実施。 全員の健康状態把握を目指すため、アウトプット指標は健診受診率、アウトカム指標は二次検査案内率とする。	全て	男女	35～（上限なし）	被扶養者,任意継続者	129,984	・受診推奨期間：R4年4月～R5年3月まで ・被扶養者受診率 78.4% ・対象者：4,371名 受診者： 3,429名	・ご自身にあった受診方法を選択しやすいように5コース用意（パート先での受診含む） ・未受診者への受診観奨の案内 計3～5回／年 ・「専門職による対面での健診結果の説明」は健診当日に委託先の医療機関で実施含む	・3年未受診者への対応	4
	3,4	健診事後フォロー	<目的> 早期発見・早期治療 <概要> 健診後リスクが判明した方に積極的支援を実施 リスク者減少を目指すため、アウトプット指標は二次検査案内率（被保険者、被扶養者）、アウトカム指標は二次検査受診率（被保険者）。	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	-	・期間：R4年4月～R5年3月まで 二次検査受診率（被保険者）：96.0%	・事業主との協力体制 ・PDCAサイクルの展開 ・健康づくり連絡会による進捗確認	・受診勧奨通知などを送付した被扶養者の受診状況などを確認し、効果検証を実施していく	5
	3,4	前期高齢者対策	<目的> 前期高齢者の健康維持と医療費削減 <概要> 63歳以上を対象とし健康維持増進 前年度一人あたり医療費削減を目指すため、アウトプット指標は計画実施率、アウトカム指標は健康意識度。	全て	男女	63～74	被扶養者	867	・R4年4月～R5年3月 ・前期高齢者を中心として健康啓発および重症化予防への活動を実施 ・シニア向け電話保健指導として普段の生活や健康状態をアンケートで伺い、それをもとに専門職から電話による健康アドバイスを実施 アンケート送付者数：132人	■健康啓発：アンケート送付時にシニア向け健康冊子を同封し健康啓発を行った。 ■重症化予防 ・健診啓発と再検査のすすめ ・シニア向け電話保健指導	シニア向け電話保健指導の参加者の効果検証と実施率の上昇	5
	3,4,5,6	歯科検診・勸奨	<目的> 歯科疾患の早期発見 <概要> ・事業場・社社にて契約医療機関による集団検診の費用を補助、検診結果の分析。 ・歯科疾患の早期発見を目的としているため、歯科アウトプット指標は歯科検診率、アウトカム指標は判定結果からの統計・解析	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者,任意継続者	16,448	・R4年4月～R5年3月 ・各事業場計画に基づいて実施 ・全国の歯科健診センターでの歯科健診 ・歯科検診受診者：4,454名 受診率17.1% ・イベント参加者：1,826名 参加率7.0%	・現場のニーズにあった内容の歯科健診事業が実施されている	・新型コロナウイルス感染症により従来の集団検診の見直し	3
	5,8	喫煙対策	<目的> 社員の健康支援、社会から信頼される企業 <概要> 喫煙所の縮小化、禁煙を目的としたイベント開催、禁煙治療の費用サポート 男女とも全国平均より高い喫煙率を下げるために、アウトプット指標は禁煙マラソン達成率、アウトカム喫煙率。	全て	男女	20～74	被保険者	736	・実施期間 R4年4月～R5年3月（2021年秋のオンライン禁煙キャンペーンは中止） ・禁煙達成者への禁煙治療費用補助：1名に支給 ・オンライン禁煙プログラム：16名参加	・キャンペーン回数を増やすなどし、被保険者が禁煙に取り組みやすい環境を整えることができた	・2021年秋のオンライン禁煙キャンペーンは禁煙補助薬の出荷停止に伴い、やむを得ず中止とした。被扶養者の参加者もいなかったため、今後の支援策について検討が必要。	4
	3,5	感染症予防対策	<目的> 休業者および医療費抑制 <概要> 予防接種を受けた方に費用補助、予防に有効な情報発信 罹患率等の検証 感染症から家族、職場の健康を守るため、アウトプット指標は予防接種率、アウトカム指標は罹患率とする。	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	54,197	・予防接種を受ける期間 2022年10月1日～2023年1月31日 ・申請期間 2022年10月1日～2023年2月末日 ・費用上限 1人2,000円（新型コロナウイルス感染症対策の一環として、2022年度は費用上限なし） ・申請件数：14,177名（内電子申請11,450名※80.8%、事業場接種 2,501名※18%） ・接種率 34.4%	・例年通り企画、案内、補助、分析を実施できた	・パスワード再発行時の事務効率化	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2,5,7	後発医薬品の使用促進／差額通知	<目的> 医療費削減 <概要> 服薬者を対象に後発医薬品切替による自己負担削減効果を知り、通知として案内、また市販薬を活用するための情報提供 アウトプット指標は利用促進通知および情報提供回数。アウトカム指標は後発医薬品の数量シェア。	全て	男女	0～74	被保険者、被扶養者、定年退職予定者、任意継続者	1,874	・後発医薬品への切替促進案内送付：2023年1月、3,000名 ・ジェネリック医薬品使用率：85.8% ・適正服薬通知送付：2023年2月、341名	・例年通り企画、案内、補助、分析を実施できた	・さらなるジェネリックの使用促進に向けた施策	5
体育奨励	2,5,6	健康づくり企画（全社）	<目的> 社員と家族の健康維持増進 <概要> ・全社共通の健康課題に合わせた健康づくり事業を計画・実施。 生活習慣病予防の要として肥満者減少を目指すため、アウトプット指標はイベントの達成率、アウトカム指標は歩く事が習慣化した方の割合。	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者、定年退職予定者		・ウォーキングチャレンジ ・年2回 健康情報の提供（機関紙やポスター等）	・事業主と健保および関連部門との連携 ・社員の意識の向上 ・新型コロナウイルス感染症としてリアルからオンラインへの切替など、試行錯誤しながら行うことができた	・新型コロナウイルス感染症により従来の集団検診の見直しと、それに変わる方法の企画立案と実施 ・参加しにくい職種への配慮	5
	5,8	健康づくり（運動・栄養・教育）／インセンティブ事業	<目的> 社員と家族の健康維持増進 <概要> ・全社および各事業場の健康課題に合わせた健康づくり事業を計画・実施 ・健康結果および活動に応じたインセンティブポイントの付与 アウトプット指標は健康づくり実施率、アウトカム指標は優良健康づくりの紹介。	全て	男女	0～（上限なし）	被保険者、被扶養者	19,286	・R4年1月頃 2022年度健康づくり事業計画提出のお願い ・実施期間 R4年4月～R5年3月 ・102企画、延べ33,892名が参加	・現場のニーズにあった方法で実施しているため、各事業場ともに実施率は高く、インセンティブ事業への関心が高くなる ・会社が行う5つの取り組み（※）を中心に企画、実施いただくことで社員自ら健康を維持増進する方法を構築（※）生活習慣・メンタルヘルス・喫煙・がん・女性の健康）	・新型コロナウイルス感染症により従来の集団検診の見直しと、それに変わる方法の企画立案と実施 ・参加者の偏り	5
予算措置なし	2,5	退職予定者への健康づくりへの働きかけ	・事業主主体のセミナーを通して、早い段階から今後のライフキャリアやライフプランについて考える機会を提供 ・退職者、任意継続被保険者喪失予定者向けに、国民健康保険切替後の健康づくりに関するリーフレットを作成	全て	男女	45～67	定年退職予定者、任意継続者		R4年5月～R5年3月 教育啓発	事業主が実施しているセミナーにて健康啓発を行っている（2019年5月より定年2ヶ月前に産業医健康面談を実施）	退職予定者へは、今後、退職説明時に案内を予定	4

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り				共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
事業主の取組									
新入社員教育	【目的】新入社員への健康意識啓発 【概要】心身の健康に関する自己管理意識の醸成と安全配慮義務に関する講義、健康保険に関わる意識啓発	被保険者	男女	18 ～ 26	2022年度 100%	新入社員研修においてプログラム化。 花王健康宣言を配布→会社として健康経営に取り組んでいる姿勢を伝達 健康マイレージ加入推奨→健康的な生活を推奨するため新入社員のうちからインセンティブ制度での意識づけを行う	【課題】効果測定 【阻害要因】特になし	有	
メンタルヘルス管理者研修	【目的】メンタルヘルスにおけるラインケアの強化。 【概要】メンバーを持つ管理者へのメンタルヘルス教育。原則全員受講とする。	被保険者	男女	18 ～ 74	各事業場・支社ごとに複数年かけて全管理者に受講。2022年は12 回実施4,729名が参加	メンタルヘルス管理者研修（ベーシックコース・アドバンスコース・フォローアップ・ラインケア・ストレスチェック集団分析の見方研修）等、各事業場・地区に必要な研修を適宜実施する。 ベーシックコースに関しては、人事の昇格者が受講するプログラムの中に組み込み、全員が漏れなく受講出来る仕組みを設ける。	【課題】効果測定 【阻害要因】メンタルヘルス管理者研修の効果指標を設定していない	有	
メンタルヘルスセルフケア研修	【目的】社員のこころの健康度を高めるための研修 【概要】各事業場リージョンで年1回実施。全社員対象。講義と個人ワーク。事前・事後にアンケート実施	被保険者	男女	18 ～ 74	2023年度4回1,399名実施	各事業場・地区ともに年に1回はメンタルヘルスセルフケアに関する研修または教育・啓発を実施するように依頼。計画書を提出してもらい実施を促す。	【課題】効果測定。事前事後のアンケートは行っているが、新たな指標が必要であると認識。 【阻害要因】特になし。	有	
定期健康診断	【目的】常時使用する労働者への健康診断 【概要】労働安全衛生規則44条に基づく定期健康診断と、特定健康診査、健保の保健事業として行う生活習慣病健診を合わせて実施	被保険者	男女	18 ～ 74	2022年度 99.99%	会社の行う健康診断と健保の行う特定健康診査、生活習慣病健診を同時実施。 がん検診項目を含めて高い受診率を確保。	【課題】健診結果の早期回収 【阻害要因】健診結果が遅い健診機関との連携	有	
雇用時健診	【目的】常時使用する労働者に対し雇い入れ時健診を行い、適正な就業配慮を行う。 【概要】労働安全衛生規則第43条	被保険者	男女	18 ～ 74	2022年度 100%	法定健診であるため必ず実施	【課題】特になし 【阻害要因】なし	無	
海外赴任前・帰国時健診	【目的】6か月以上の海外派遣労働者に対する健診実施と適正な事後措置 【概要】労働安全衛生規則第45条の2に基づく健康診断の実施 【概要】労働安全衛生規則第43条	被保険者 被扶養者	男女	18 ～ 74	2022年度 100%	法定健診であるため必ず実施	【課題】海外赴任前・帰国時健診のアウトソース 【阻害要因】国により健診項目が異なるが、これに対応できるアウトソーシング先がない	無	
海外駐在者健診	【目的】海外駐在者に対する健康診断と適正な事後措置 【概要】海外駐在者が帰国時、または現地で行う健診	被保険者	男女	18 ～ 74	2022年度 73.9%	日本への出張の機会、現地の健診機関などを活用した健康診断の受診促進	【課題】日本への出張、帰国の機会がない社員の受診促進 【阻害要因】仕事により日本に帰国できない。現地に適正な健診機関が無い。	無	
特定保健指導	【目的】メタボリックシンドロームの予防・改善 【概要】特定保健指導対象者に対する特定保健指導、特定保健指導対象者予備群（プレメタボ層）に対する特定保健指導	被保険者	男女	35 ～ 74	2022年度 （特定保健指導対象者40歳以上）積極的支援72%、動機づけ支援74.8%実施 積極的支援 57.2% 1208名中691名実施 動機づけ支援 64.5% 959名中619名実施	社員の特定保健指導を花王健保から花王株に委託。事業主雇用の看護職が特定保健指導を実施する。40歳以上必須、35歳以上推奨	【課題】特定保健指導未実施者の存在。途中脱落。 【阻害要因】特定保健指導対象者の多さ、面談調整。	有	
禁煙支援	【目的】喫煙者の健康リスク減少、非喫煙者の受動喫煙による健康リスク減少 【概要】花王グループ禁煙週間の設定、卒煙チャレンジ実施	被保険者	男女	18 ～ 74	2022年 ●花王グループ卒煙チャレンジ202人参加106人達成●禁煙補助1人●オンライン禁煙16人参加	全社の禁煙施策と健保の支援の融合	【課題】禁煙しやすい環境づくりの促進 【阻害要因】環境づくりへの意識が低いこと	有	
ストレスチェック 高ストレス者対応 （旧：メンタルヘルスクリーニング面談）	【目的】メンタルヘルス不調者への早期対応 【概要】ストレスチェック高ストレス者への相談受付、面談実施。高ストレス者のうち抑うつ度が高い者は超高ストレス者として早期対応。そのほかの高ストレス者は面接希望者以外は、随時対応とする。	被保険者	男女	18 ～ 74	2022年 ストレスチェック高ストレス該当者全員に健康相談窓口の案内メール配信	ストレスチェックの高ストレス者を超高ストレス者とそれ以外の者に分け、面談等の対応方法を変更した。また、すべての高ストレス者に対して、外部EAPのフォローメールを配信。	【課題】高ストレス者が10％近くいることから、面談等のフォローの工数がかかる 【阻害要因】特になし	無	
カウンセリング	【目的】メンタルヘルス不調者への早期対応 【概要】必要に応じたカウンセリング	被保険者	男女	18 ～ 74	2022年 15,692人に実施	相談窓口の周知 外部EAP相談窓口を記載したマグネットを360人に配布	【課題】メンタル相談傾向の把握 【阻害要因】特になし	無	
職場復帰支援	【目的】休職者のスムーズな復職 【概要】職場復帰ガイドラインに基づく復職支援	被保険者	男女	18 ～ 74	2022年 100%	職場復帰ガイドラインの策定	【課題】確実な復職 【阻害要因】調査方法が定まっていない	無	
就業上の配慮	【目的】ハイリスク者に対する適正な就業措置 【概要】就業上の配慮基準に基づき、健診結果のハイリスク者に対し、受診勧奨、健康状態の確認を行い、場合により就業制限を実施	被保険者	男女	18 ～ 74	2022年 対象者388名（対象者率1.6%） うち健康会議実施者10名 うち2名が糖尿病のため教育入院 就業上の配慮実施5名（時間外勤務・出張・休日出勤・深夜業・車運転禁止等）	就業上の配慮基準の策定	【課題】特になし 【阻害要因】特になし	無	

1-3基本分析-ア-（加入者分析）

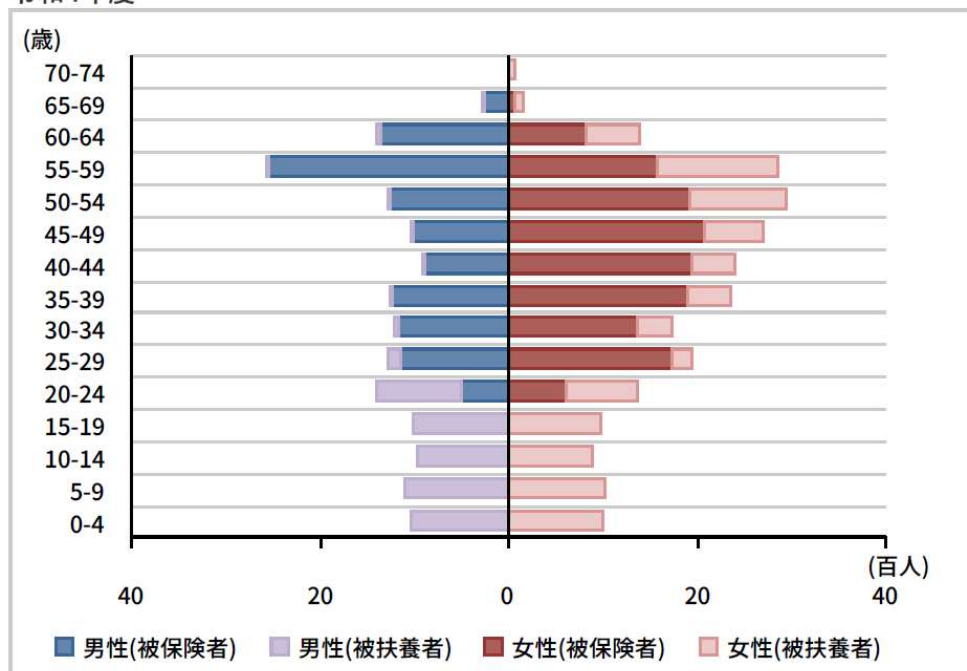
第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

年齢分布図

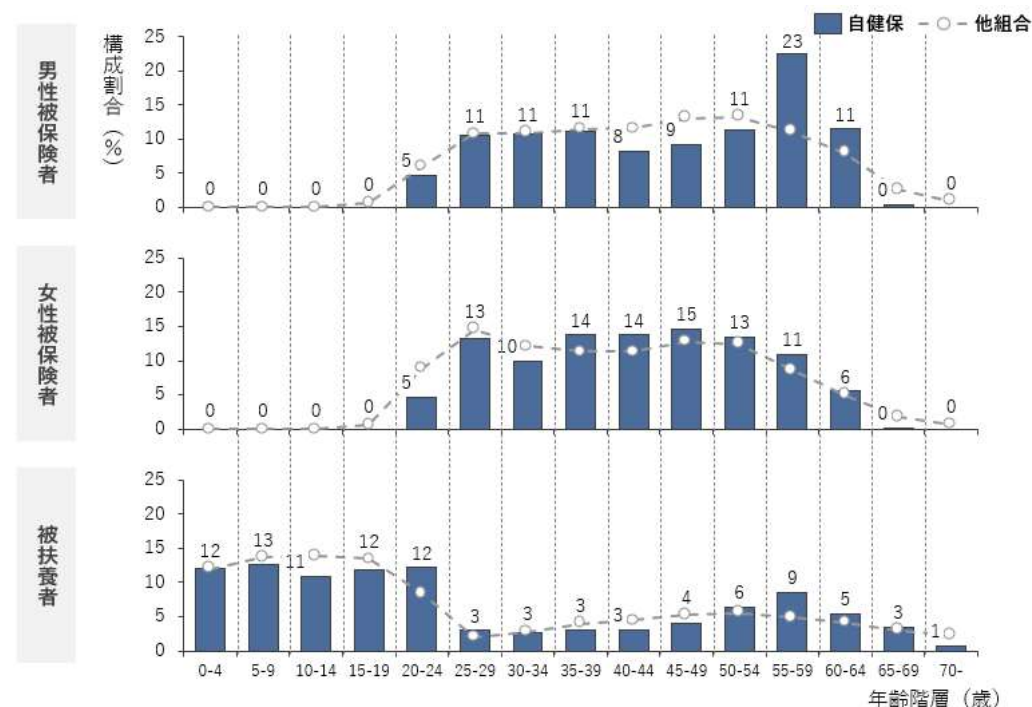
R5年3月現在

被保険者：25,416名
被扶養者：15,152名
計：40,568名

令和4年度



年齢階層別構成割合（他組合比較）

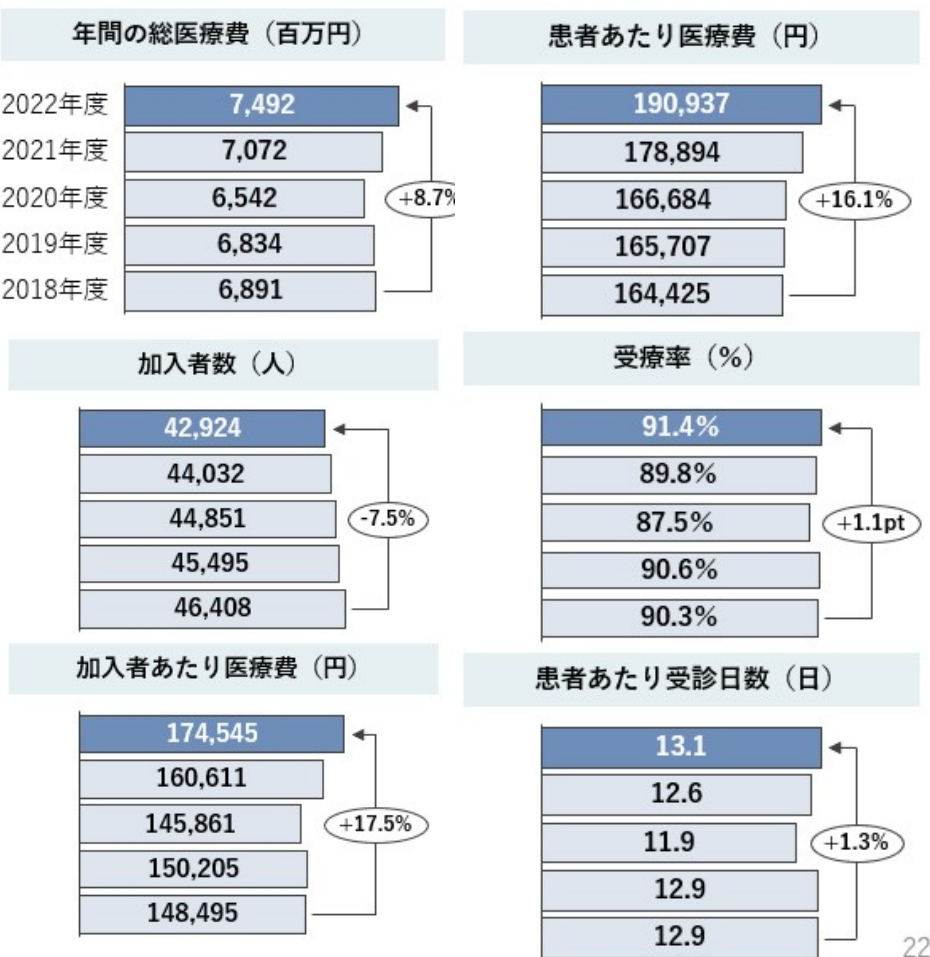


他組合と比較し、女性被保険者は40代～50代、男性被保険者は50代後半～60代前半の加入者構成割合が高く、重症化予防・適正服薬の重要性が増す

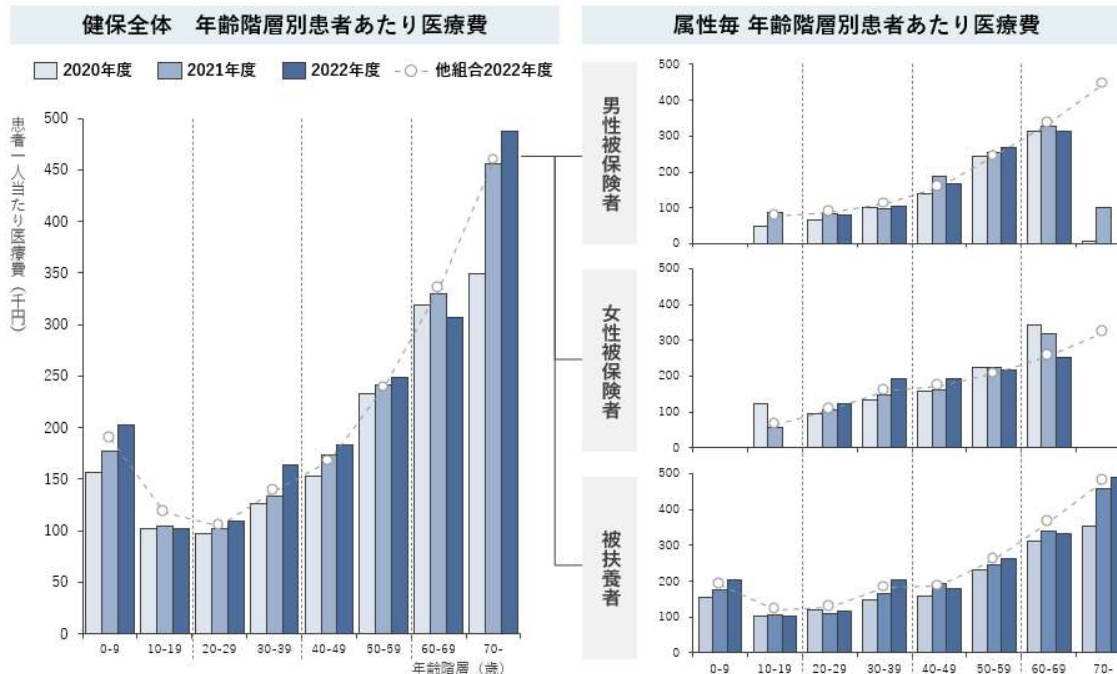
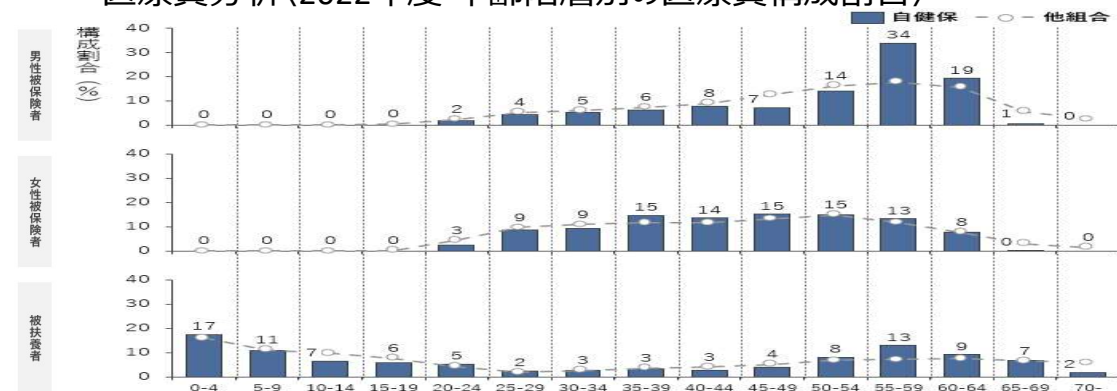
1-3基本分析-Ⅰ- (医療費分析)

第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

医療費分析〈医療費因数分解〉



医療費分析〈2022年度 年齢階層別の医療費構成割合〉



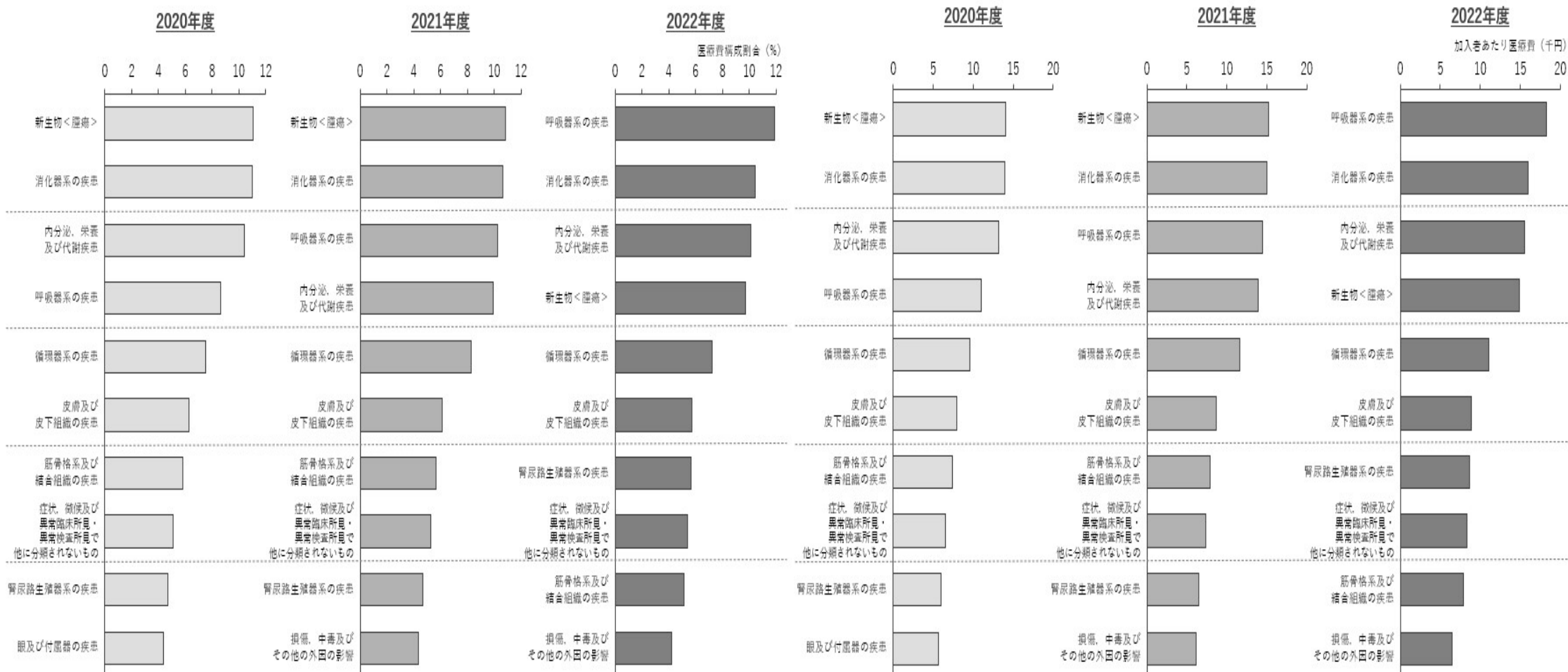
1-3基本分析-ウ-（疾病分析）

第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

※医療費抽出方法：PDM法
※対象レセプト：医科、調剤
※疑い傷病：含む

疾病分析<ICD10大分類別 医療費構成割合 上位10>

疾病分析<ICD10大分類別 加入者あたり医療費 上位10>

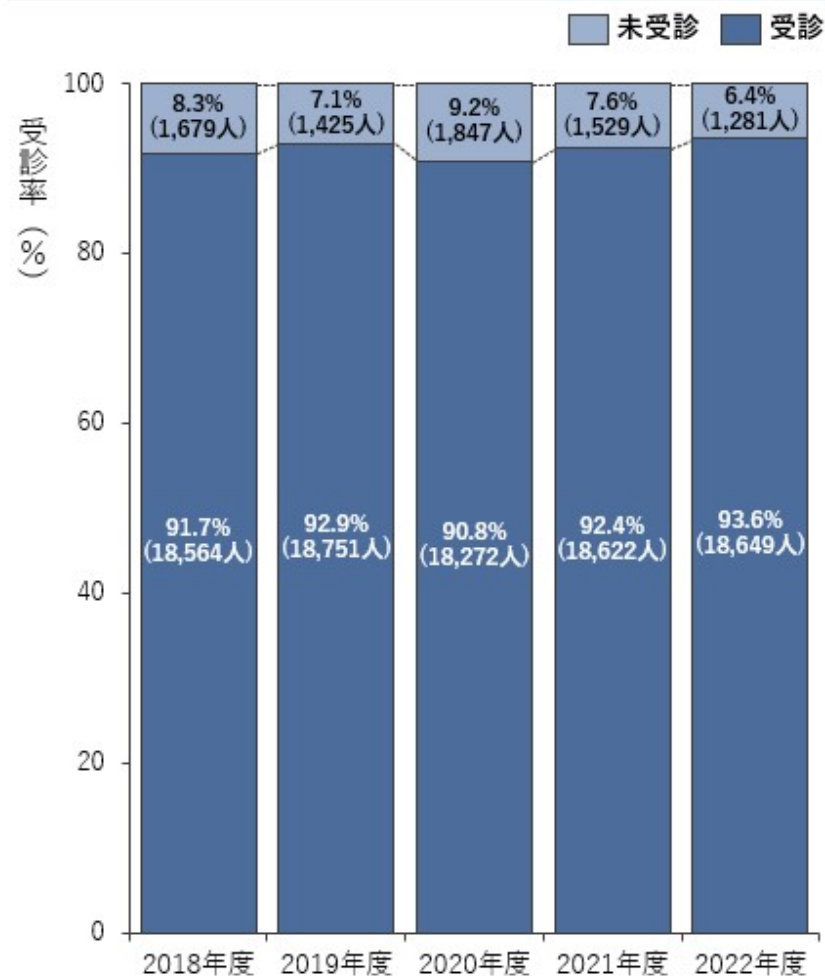


1-3基本分析-Ⅰ-（特定健康診査）

第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

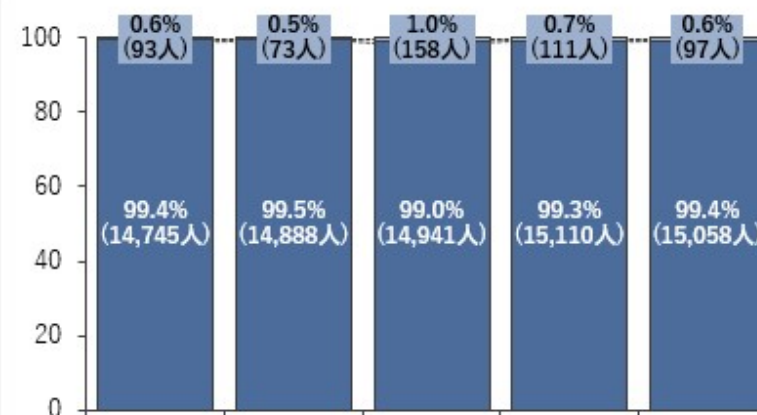
※対象：各年度継続在籍者
※年齢：各年度末40歳以上

年度別 健診受診率（全体）

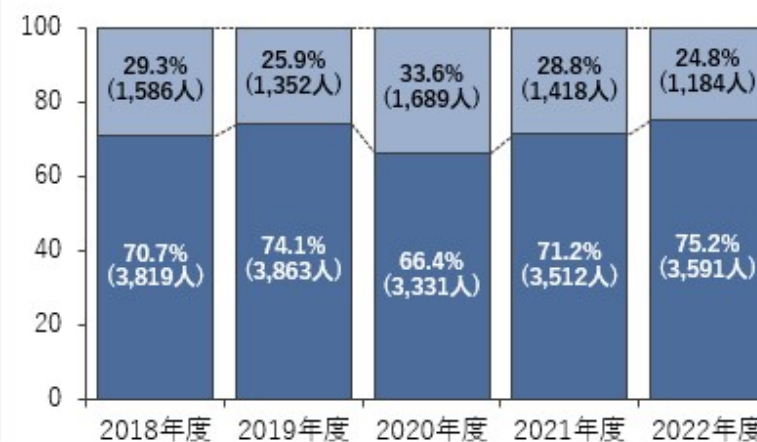


年度別 健診受診率（被保険者・被扶養者別）

被保険者



被扶養者



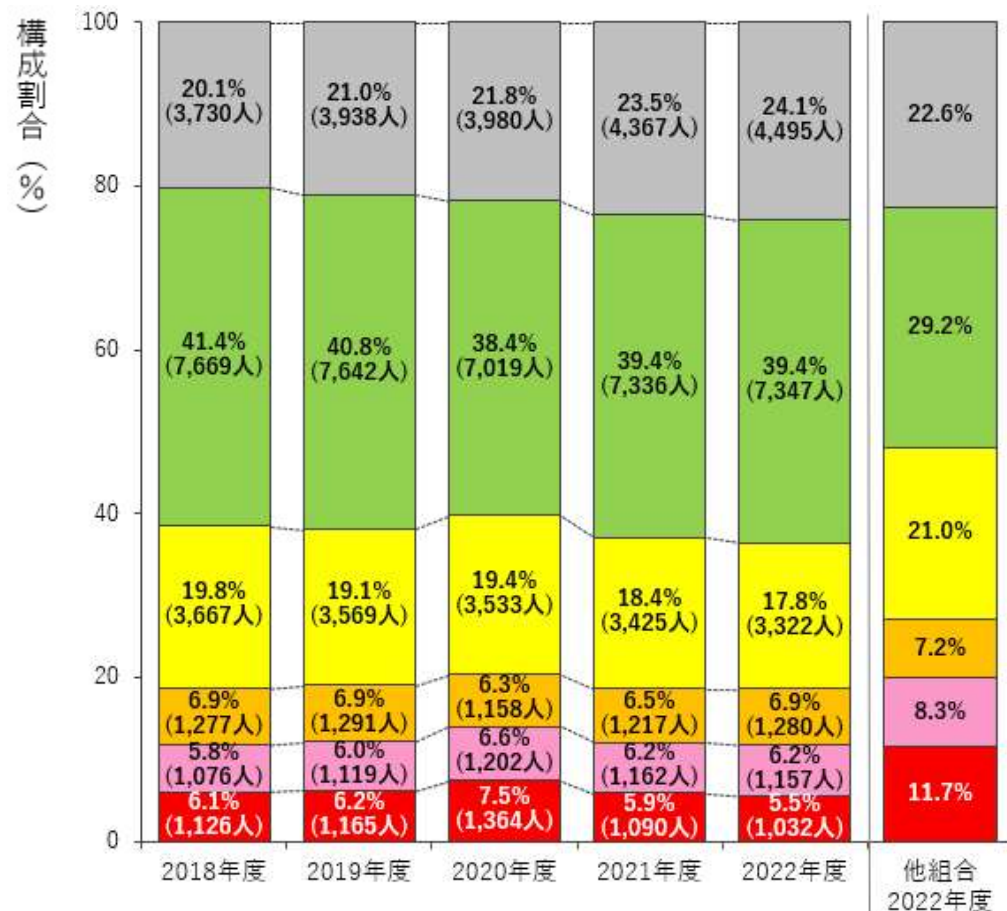
1-3基本分析-オ- (特定保健指導)

第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

服薬 情報提供（非肥満_検査値正常） 情報提供（非肥満_検査値リスク有） 情報提供（肥満_検査値正常） 動機付け支援 積極的支援

※対象：各年度継続在籍者 ※年齢：各年度末40歳以上

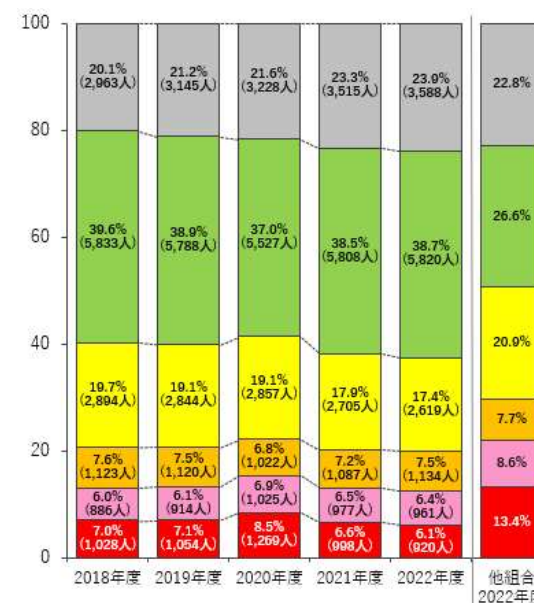
特定保健指導対象者割合（全体）



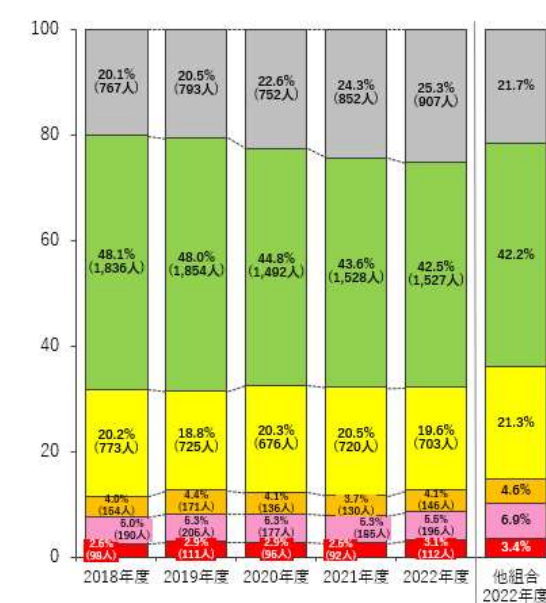
■ 情報提供の内在リスクの判定基準

- ・肥満：BMI25以上、または腹囲85cm（男性）・90cm（女性）以上
- ・検査値リスク有：下記のいずれか1つ以上該当
 - ①血糖：空腹時血糖100mg/dl以上
（空腹時血糖を未測定の場合は、HbA1c 5.6%以上）
 - ②脂質：中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
 - ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

被保険者



被扶養者



1-3基本分析-カ- (生活習慣病リスク保有者の割合)

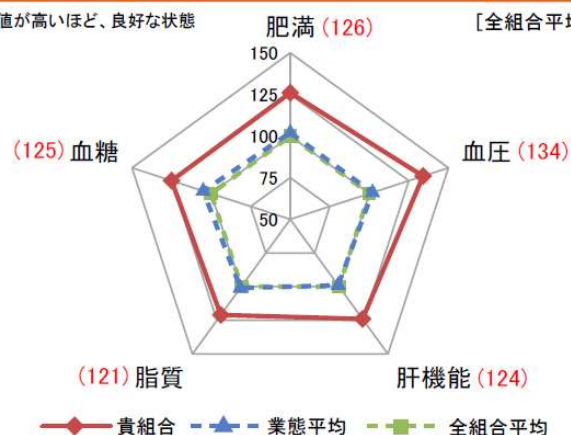
第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

健康状況



* 数値が高いほど、良好な状態

[全組合平均: 100]



KAO健康2025 指標 健診所見

青字：2019年度より改善、赤字：2019年度より悪化 花王個人戦略部門 健康開発推進部 KAO

項目	男性					女性				
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2025年度 目標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2025年度 目標
BMI 25以上率	26.7	28.5	27.3	27.6	26.0	14.0	15.0	14.7	15.5	14.0
年齢調整後	26.7	28.7	27.6	27.7		14.0	14.8	14.2	14.6	
血中脂質有所見率	38.5	42.2	40.7	37.6	40.0	20.6	23.8	23.7	22.7	20.0
年齢調整後	38.5	42.5	41.1	37.8		20.6	23.8	22.7	20.7	
血圧有所見率	25.6	30.7	26.8	26.1	25.0	10.5	12.3	11.6	12.0	10.0
年齢調整後	25.6	30.7	26.7	25.5		10.5	11.8	10.9	10.5	
糖代謝有所見率	14.2	14.8	14.4	13.8	14.0	5.9	6.1	6.4	6.4	5.5
年齢調整後	14.2	14.7	14.1	13.0		5.9	5.8	5.7	5.3	
メタボ該当・予備群率(35歳以上)	32.3	36.9	33.8	33.0	32.0	7.4	8.9	8.2	8.5	7.5
年齢調整後	32.3	36.9	34.0	33.0		7.4	8.6	7.8	7.8	
就業判定基準該当者率	1.9	3.1	2.2	2.0	2.0	1.2	1.7	1.4	1.3	1.2
年齢調整後	1.9	3.1	2.2	2.1		1.2	1.6	1.2	1.2	

全体的にみると2020年度以降コロナ禍で悪化していたが、2019年度水準に戻ってきている。
男性の脂質は2025目標達成、糖代謝については年齢調整後の結果で見れば男女ともに2025目標達成。
年齢調整に関しては、女性の方が年齢調整による影響が大きい（年齢調整すると最大2%の差がある）

21

2023年度健康白書(2022年度データ集計)より

2022年度版スコアリングレポートより

1-3基本分析-キ- (生活習慣)

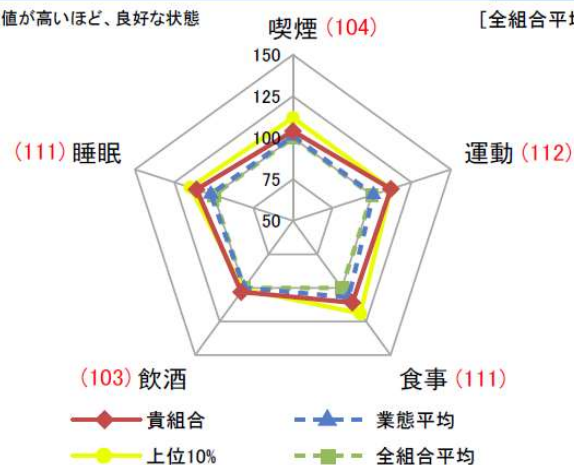
第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

生活習慣



* 数値が高いほど、良好な状態

[全組合平均:100]



KAO健康2025 指標 生活習慣

青字：2019年度より改善、赤字：2019年度より悪化

花王(株)人財戦略部門
健康開発推進部



項目	男性					女性				
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2025年度 目標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2025年度 目標
喫煙率	27.4	26.0	24.8	24.8	21.0	18.4	17.0	15.6	15.0	13.0
年齢調整後	27.4	26.2	25.1	25.1		18.4	16.7	15.1	14.0	
寝る前2時間以内の食事率(週3回以上)	35.8	29.6	26.5	27.0	28.0	32.8	26.5	22.7	23.5	25.0
年齢調整後	35.8	29.6	26.6	28.2		32.8	26.5	22.8	23.9	
朝食抜き週3回以上率	22.9	23.5	24.2	24.8	22.0	23.9	23.7	23.5	24.6	23.0
年齢調整後	22.9	23.6	24.5	25.5		23.9	23.8	23.8	25.3	
運動をほとんどしない人の率	42.5	39.7	39.8	39.0	36.0	63.5	59.6	59.0	58.8	58.0
年齢調整後	42.5	39.7	39.7	38.8		63.5	59.8	59.3	59.0	
1日あたり60分未満の歩行率	44.0	44.4	50.9	49.2	42.0	38.3	39.4	43.8	43.0	38.0
年齢調整後	44.0	44.4	51.0	48.9		38.3	39.4	43.7	42.4	
ぐっすり眠れない率	37.0	36.2	36.4	36.7	35.0	38.1	37.4	38.3	39.4	36.0
年齢調整後	37.0	36.2	36.3	36.5		38.1	37.3	38.0	39.0	

男女ともに喫煙、寝る前2時間以内の食事、運動しない人は改善。男性の睡眠は改善。

女性の寝る前2時間以内食事率は2025目標達成。

男女ともに朝食、歩行は悪化。女性の睡眠は悪化。

生活習慣については、年齢調整による影響はほとんどない。

2023年度健康白書(2022年度データ集計)より

リスク	良好	中央値と 同程度	不良	ランクUPまで (*1)
喫煙習慣 リスク	😊	😊	😐	あと567人
運動習慣 リスク	😊	😊	😐	最上位です
食事習慣 リスク	😊	😊	😐	あと92人
飲酒習慣 リスク	😊	😊	😐	最上位です
睡眠習慣 リスク	😊	😊	😐	最上位です

2022年度版スコアリングレポートより

1-3基本分析-サ- (喫煙分析)

第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

喫煙対策 問診分析 <現在、たばこを習慣的に吸っていますか>

※年齢：各年度末40歳以上



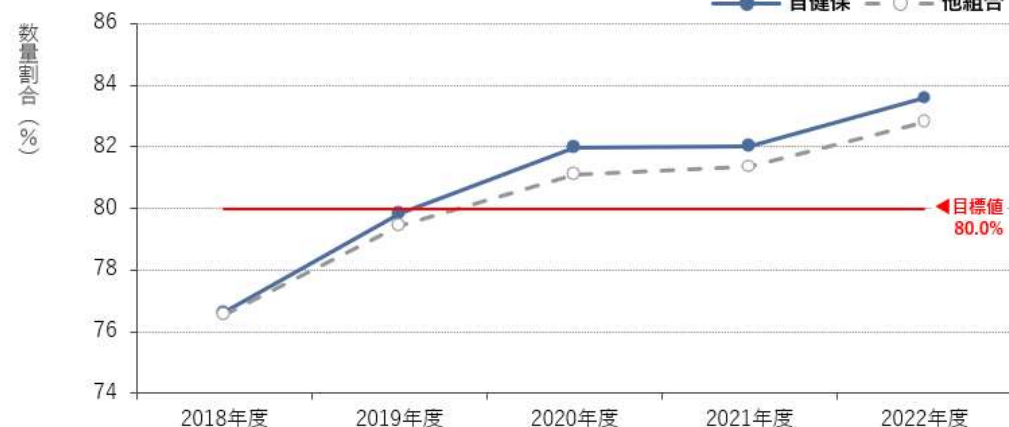
1-3基本分析-シ-（後発医薬品使用状況）

第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

年度別 後発医薬品数量割合推移

※対象レセプト：全て
※各年度末月（3月度）の数量割合

● 自健保 ○ 他組合



レセプト種別 後発医薬品数量割合

レセプト種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
医科入院	82.7%	83.3%	88.7%	87.8%	82.1%
医科入院外	62.9%	67.9%	69.8%	69.7%	71.7%
調剤	80.0%	82.6%	84.3%	84.3%	85.7%
歯科	39.5%	45.9%	53.4%	49.1%	51.6%
全レセプト	76.6%	79.8%	82.0%	82.0%	83.6%

2022年度 月別 後発医薬品数量割合推移

※年度：2022年度
※対象レセプト：全て

● 自健保 ○ 他組合



レセプト種別 後発医薬品数量割合

レセプト種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
医科入院	82.4%	86.4%	88.1%	84.7%	84.9%	86.2%	81.8%	85.5%	86.3%	85.8%	83.0%	82.1%
医科入院外	69.7%	69.3%	68.3%	69.1%	69.7%	69.3%	68.5%	70.3%	71.5%	71.9%	69.8%	71.7%
調剤	84.1%	85.0%	84.8%	84.8%	85.2%	85.1%	85.6%	85.5%	86.5%	85.6%	86.4%	85.7%
歯科	48.5%	44.2%	46.7%	46.7%	48.0%	45.0%	48.6%	43.7%	53.7%	45.4%	47.9%	51.6%
全レセプト	81.8%	82.4%	82.3%	82.3%	82.7%	82.7%	82.9%	83.2%	84.2%	83.5%	84.0%	83.6%

1-3基本分析-ス- (歯科分析)

第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

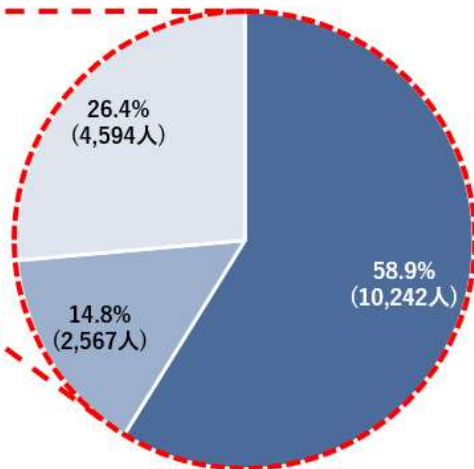
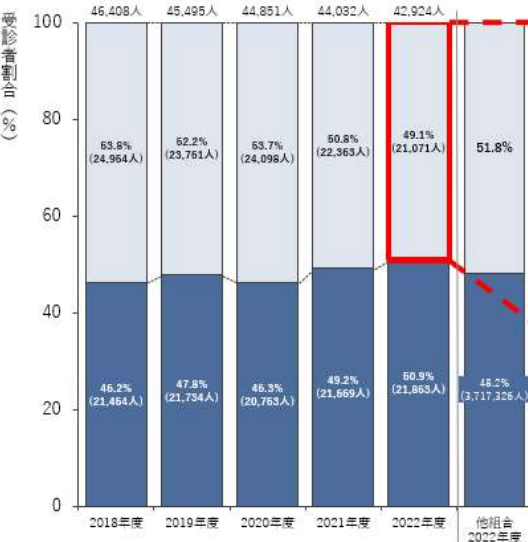
歯科受診割合

※対象レセプト：歯科

歯科受診者割合

2022年度未受診者の実態

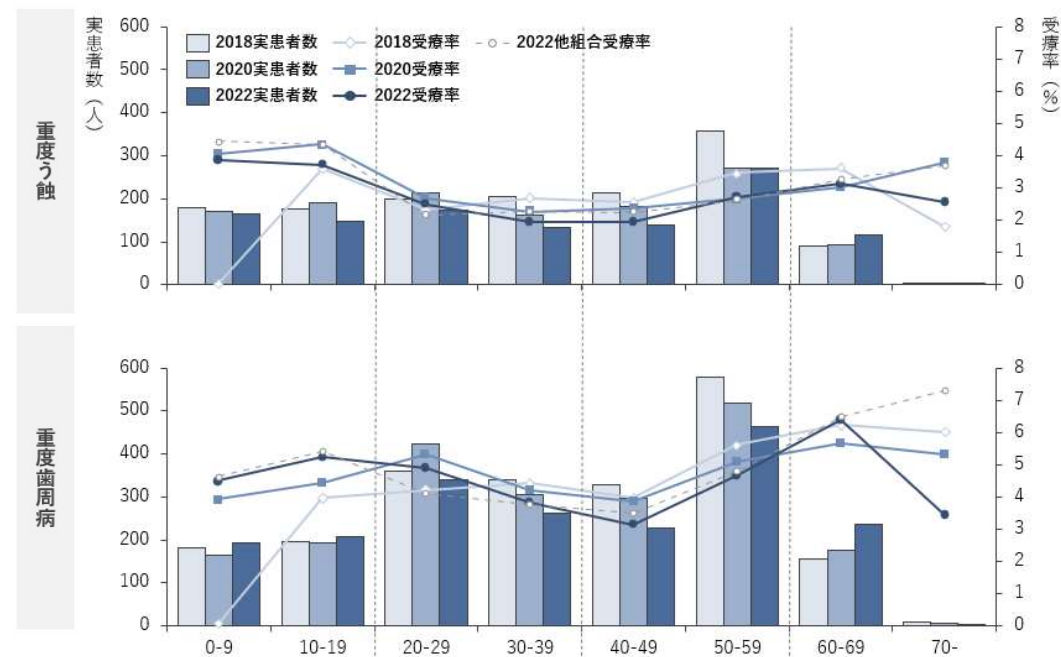
■ 未受診
■ 受診
■ 3年間連続未受診
■ 2年間連続未受診
■ 1年間未受診



※2020年度～2022年度継続在籍者に限定

重度う蝕／重度歯周病 年齢階層別 受療率比較

※対象レセプト：歯科
※疑い傷病：除く



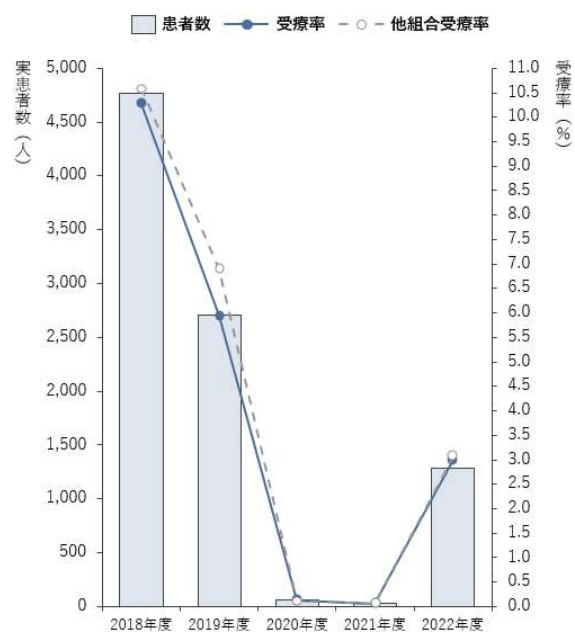
1-3基本分析-セ- (感染症)

第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

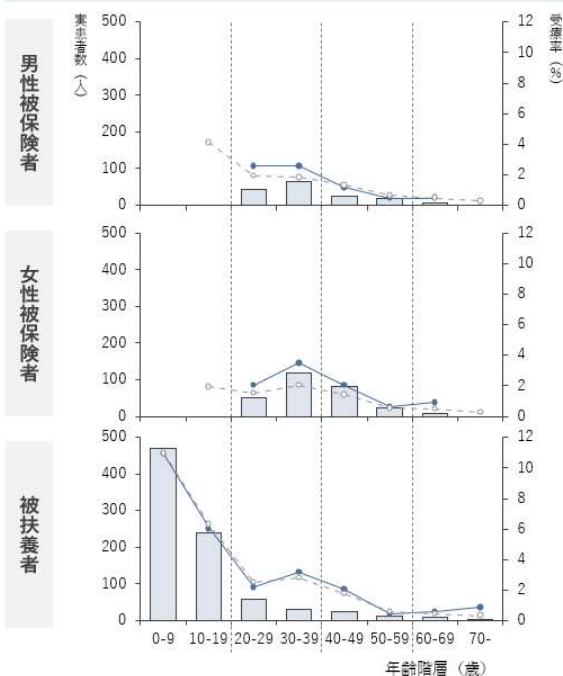
※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

※対象レセプト：医科
※疑い傷病：除く

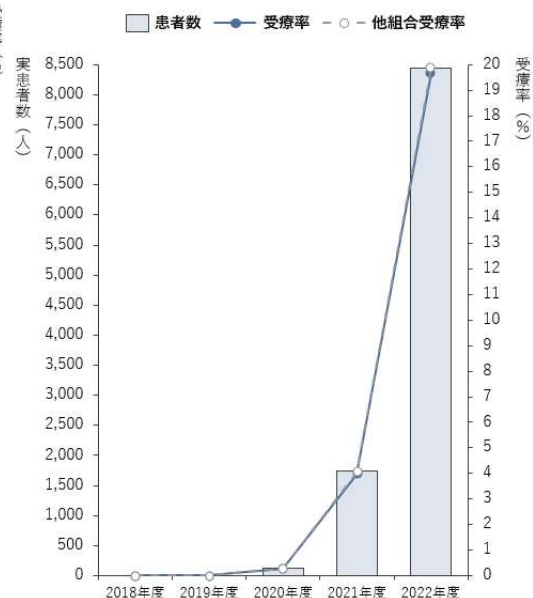
健保全体 インフルエンザの受療状況



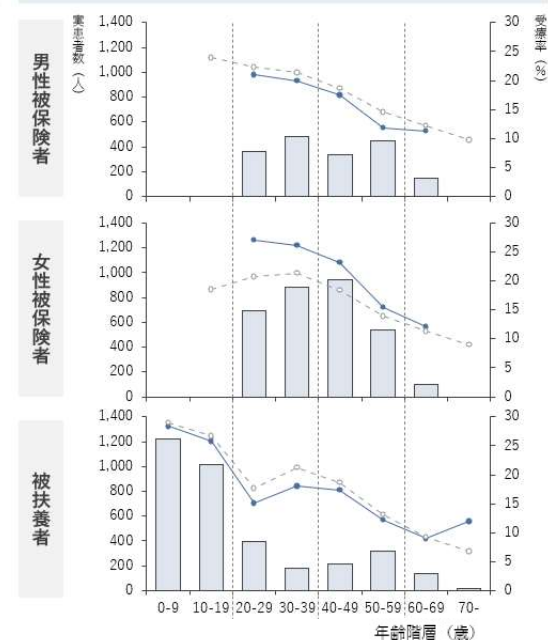
2022年度 年齢階層別インフルエンザの受療状況



健保全体 新型コロナウイルス感染症の受療状況

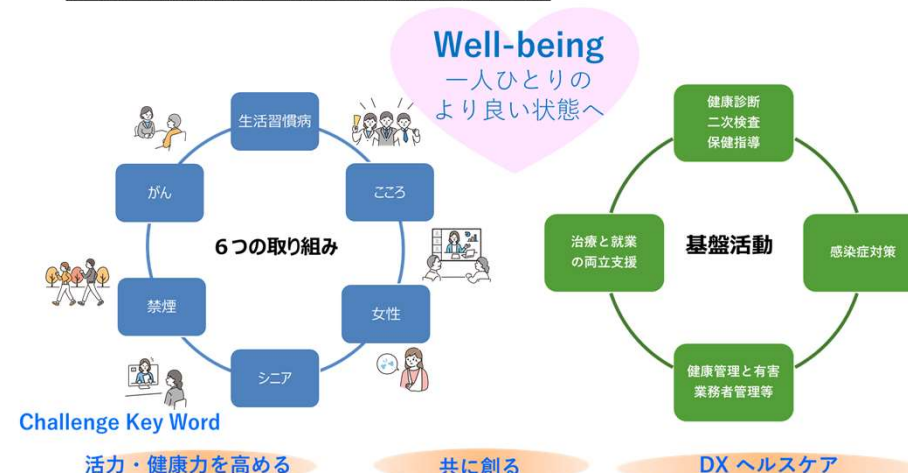


2022年度 年齢階層別新型コロナウイルス感染症の受療状況



第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

健康中期計画 Kao健康2025



花王 健康経営戦略MAP

The diagram illustrates the organizational structure of a medical institution, divided into departments and their respective functions. The diagram is color-coded and includes a flowchart on the right side.

Top Level:

- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)

Second Level:

- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)

Third Level:

- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)

Fourth Level:

- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)

Flowchart on the Right:

- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)

Bottom Level:

- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)
- 診療科長 (Department Head)

21

1-3基本分析-ツ- (適正服薬)

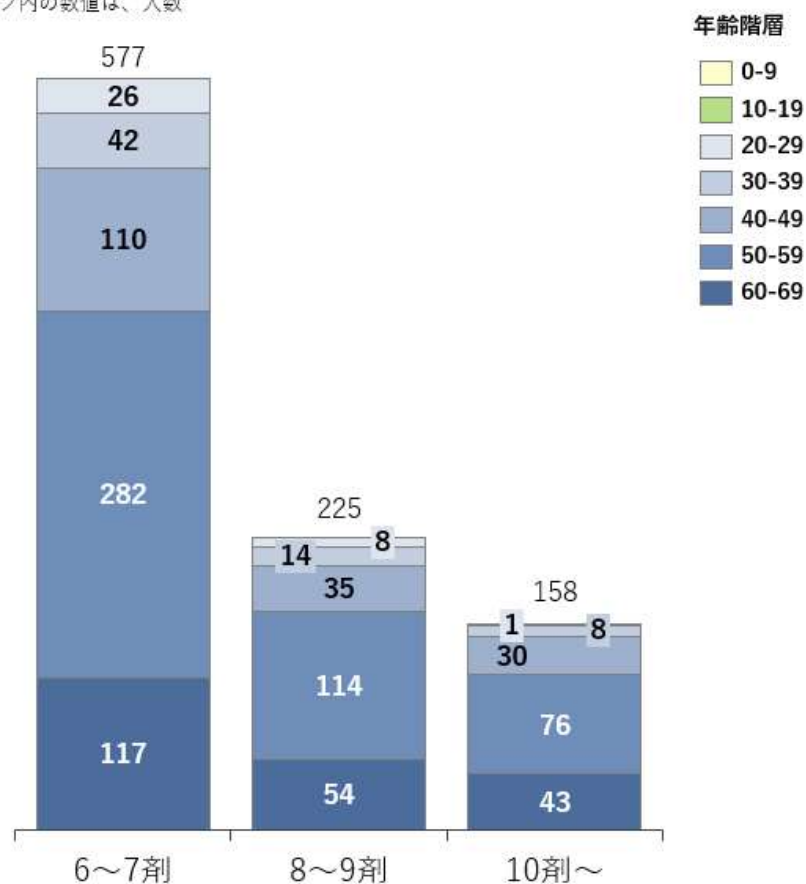
第3期データヘルス計画
花王健康保険組合

・薬剤処方において有害事象の発生リスクが高まる「6剤」以上の併用が見られる加入者が10%弱存在しており、ボリュームゾーンは40代～50代である。

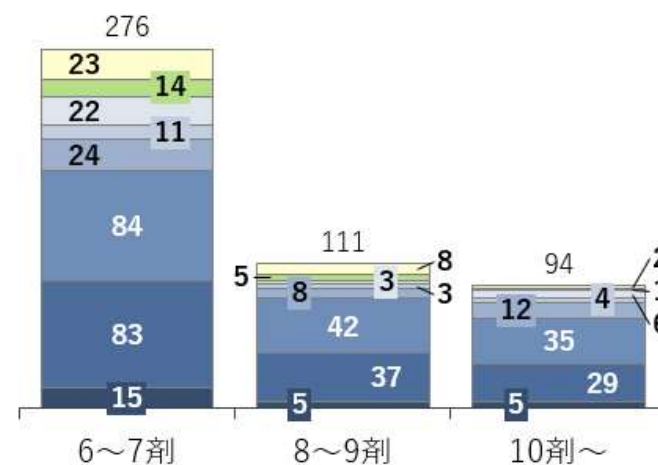
被保険者 多剤服用者割合：8.8%

被扶養者 多剤服用者割合：7.6%

グラフ内の数値は、人数



※対象：2023年1月～3月のレセプト
※1剤の定義：同月内・同一医療機関・同一成分の処方が14日以上ものを1剤としている
※個人ごとの最大剤数で集計



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, ウ, エ, オ, カ, キ, サ, ソ	被保険者の特定健康診査受診率は93.6%、特定保健指導実施率は74.0%である。	➡	被保険者の特定保健指導実施率は、高い傾向にあるが、年度後半の健診受診者については、特定保健指導の受診勧奨が滞る傾向にある。特定保健指導受診率を高めるため早期の健診受診、特定保健指導へとつなげていく	✓
2	ア, イ, ウ, エ, オ, ク, ケ, ソ	被扶養者の特定健診受診率は、順調に上昇傾向にあり、令和4年度は75.2%となった。引き続き積極的な受診勧奨を進めていく。また一人あたり医療費は増加傾向にあり、2次検査等の受診勧奨や生活習慣改善にむけて特定保健指導等の対応が必要。	➡	被扶養者の特定保健指導受診率向上のため、目に留まりやすい形での啓発活動が続ける。また生活習慣改善に取り組んでいただくための情報啓発や、イベント健診等実施していく。	✓
3	サ	・喫煙率は年々減少傾向にあるが、女性の喫煙率は日本平均より高い傾向にあるため、さらに減少を目指していく	➡	入社以降に喫煙を始める社員がいることから、入煙防止策に力を入れていく。禁煙キャンペーン、禁煙外来補助、オンライン禁煙等の施策は継続して行う。	✓
4	ア, ウ, ク, ソ	女性は若年層のうちから乳がん・子宮がん罹患するケースが多い。早期発見早期治療につなげるため乳がん・子宮がん検診受診率をさらに高めていく。	➡	がん対策としては、早期発見・早期治療が有効であるため、がん検診の受診を促進する・乳がん、子宮がん検診は若年層にも受診を啓発する・がん罹患者の治療による休業からよりよい復職の方法を検討	✓
5	ア, ウ, ケ, ソ	65歳以上のシニア層について医療費総額は横ばい、一人当たり医療費は低減傾向にある。一方で前期高齢者数は増加傾向にあるため、引き続き健診受診や生活習慣改善への働きかけが必要である。	➡	重症化予防策として高血糖・高血圧等への保健指導や未通院者には医療機関への受診勧奨を行う	✓
6	ス	令和4年度の歯科分析において、歯科の3年連続未受診者は58.9%と高い傾向にある。他健保と比較し、歯科の受療率は低い。歯科検診受診率も低い。	➡	歯科検診受診率の向上、またかかりつけ歯科医で定期検診を行うものを増やしていくため積極的な啓発活動を実施する。またセルフケアとして正しい歯磨きができる人を増やしていく活動も行う。	
7	シ	ジェリック使用割合は高止まり傾向であり、目標の80%を超えている。	➡	切替可能な医薬品服用者に対して、自己負担額軽減額を条件として差額通知の発送を継続する・後発医薬品の安全性やくすりに関する情報提供を強化する。	
8	セ	令和4年度のインフルエンザ予防接種補助申請は34.4%であった。予防接種受診により重症化防止効果があることから受診率を上げる必要がある。	➡	接種した方が罹患の可能性が減少し重症化を防ぐので、予防接種を継続する・社内イントラや会議等で感染状況や他の有効な予防に関する情報を提供する	
9	コ, ソ	生活習慣改善に取り組んでいる社員は、令和4年度男性で28.8%、女性で22.9%であり、微増傾向にある。	➡	経年の健診結果や生活習慣病疾患リスク、改善に向けたアドバイス等の情報提供は継続し、情報を得て自ら生活習慣改善に取り組む社員を増やしていく。・広報誌やホームページ、会議等での健康情報の提供も継続し、より効果的なポピュレーションアプローチも検討	
10	キ, ソ	被保険者について令和4年度の健診結果では、男女ともに肥満、メタボリックシンドローム該当者・予備群率が増加傾向。一方で、寝る前2時間以内の食事率や運動しない人の率などは改善している。朝食抜き週3以上率、1日あたり60分未満の歩行率は増えているため、男女ともに生活習慣改善アプローチを続けていく必要がある	➡	各職場で職種や年代ごとの健康課題に合わせ、より高い健康づくり施策を継続的に実施する・情報提供や動機づけとなるイベント、環境の整備等社員を巻き込んで取り組む	

11	ソ	花王グループ健康宣言のもと、社員と家族にむけた健康活動を展開している	➡	健康経営推進のため、健康中期計画を立て、健康経営戦略MAPに基づく施策を推進していく。コラボヘルスで施策立案、事業主との会議体を経て、各事業場・地区で健康経営を着実に実行していく	
12	チ	メンタルによる休業者や傷病手当金等の申請者は増加傾向にあり、ラインケア、セルフケアともに強化が必要	➡	・労働時間の適正化、ワークライフバランスを確保することで高ストレス者や脳血管疾患のリスク減少につながる	
13	オ	令和4年度は、被保険者・被扶養者とも特定保健指導率は上昇傾向にある。	➡	現行の取り組み方にこだわらず、ICTによる保健指導の充実やプログラムの選択制を検討していく	
14	ウ，カ，ソ，タ	被保険者の二次・再検査の受診率は約9割を超え、その結果を社内医療者が管理できている。被扶養者においては再検査等の受診勧奨案内のみとなっている。	➡	被扶養者においても再検査等の進捗を把握し、早期発見治療につながる施策を検討	
15	カ，キ，コ，サ，ソ	職種や拠点、働く環境が多様化する中、自らの率先して健康づくり参加できる環境づくりを強化する	➡	職種や地域の特性・特徴を意識し、グループ全員が参加しやすい環境づくりや現場主義をベースにより良い健康情報やサービスを行う	
16	カ，キ，コ，サ，ス，ソ	現場主義の健康づくりをめざし、各拠点の健康課題にあったイベントを実施しているが、健保にて活動情報をより有効に活用する必要がある	➡	計画に基づいた実施結果を体系化し、有効事例をもっと効果的に活用する	
17	ツ	・薬剤処方において有害事象の発生リスクが高まる「6剤」以上の併用が見られる加入者が10%以上存在している。 ・頻回受診が認められる加入者が、特に45歳以上に多く存在する。	➡	・有害事象が疑われる加入者に対し、服薬の適正化を図るための介入を行う	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者約25,000人、被扶養者約15,000人の大規模健保である。年齢分布では、55歳～59歳の男性被保険者が突出しており、50歳～59歳の女性被保険者・被扶養者が多くなっている。女性加入者は6割強。前期高齢者の加入者は1.2%と低いが、今後増加見込み。健保組合に医療職は不在であるが、事業主は全国の拠点を21ヶ所の健康相談室で対応	➡	加入者の高齢化が課題であり、若年層からの早期発見・早期治療、メタボ予防活動等により高齢化した際の重症化防止を行うこと。女性加入者へのがん対策支援を充実すること。高齢化社員への受診勧奨、教育啓発を実施すること。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	特定健診・保健指導、二次検査実施に注力している。また体育奨励費の助成により、各健康相談室の特徴に応じた健康づくり活動を行い、生活習慣改善に取り組んでいる。歯科、感染症予防活動も実施している。	➡	健診、レセプトデータの集計結果から、年代別の医療費は特に高齢層において低く抑えられている傾向にあるが、一方で高齢化に伴い健診有所見は増加傾向にあるため、生活習慣改善と適正治療が行われるよう配慮が必要

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

高年齢世代の増加に伴い、生活習慣病のリスクの増加や虚血性心疾患、脳血管障害・がんの罹患率が増加すると予測する。加入者全体の健康維持増進を推進するとともに、重症化にならない施策を展開し、医療費の適正化につなげる。

事業全体の目標

- ・健診・事後フォローの徹底による早期発見早期治療の推進
- ・各種健康づくり活動による健康リテラシーの高い社員を増やす
- ・高年齢世代の健康度向上と医療費低減
- ・被扶養者の健診・二次検査・保健指導の推進

事業の一覧	
職場環境の整備	
予算措置なし	健康経営およびコラボヘルスの取組み
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	健康情報提供（広報誌）
保健指導宣伝	メンタルヘルス管理者研修
予算措置なし	女性の健康サポート
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
疾病予防	生活習慣病健診（被保険者）
疾病予防	生活習慣病健診（被扶養者）
疾病予防	健診事後フォロー
疾病予防	シニア対策
疾病予防	歯科検診・勧奨
疾病予防	喫煙対策
疾病予防	感染症予防対策
疾病予防	後発医薬品の使用促進／差額通知
疾病予防	適正服薬の取組
体育奨励	健康づくり

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算 科目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連											
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画																	
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度										
アウトプット指標												アウトカム指標																		
予算 措 置 な し	1,2,5	既 存	健康経営および コラボヘル スの取組み	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	3	イ,ウ,キ,ク-		ア,イ,カ	-	・花王グループ健康宣言 に基いた、健康経営中期 計画の施策実行 ・定期的なトップからの 健康 <i>Message</i> 発信 ・社内技術を活用した健 康推進（社員と家族の健 康prj活動） ・健保と事業主の「スコ アリングレポート」や「 データヘルス計画」、「 健康経営度調査」等の情 報共有と課題解決に向け た審議の場を設定 ・人財育成及び課題発掘 の機会として医療専門Sお よび実務Sによる白書勉強 会・検討会を開催 ・月次・年次安全衛生・ 厚生委員会等で健康情報 を社員へ周知 ・職場環境改善の一環と して生産性問診調査を実 施	・花王グループ健康宣言 に基いた、健康経営中期 計画の施策実行 ・定期的なトップからの 健康 <i>Message</i> 発信 ・社内技術を活用した健 康推進（社員と家族の健 康prj活動） ・健保と事業主の「スコ アリングレポート」や「 データヘルス計画」、「 健康経営度調査」等の情 報共有と課題解決に向け た審議の場を設定 ・人財育成及び課題発掘 の機会として医療専門Sお よび実務Sによる白書勉強 会・検討会を開催 ・月次・年次安全衛生・ 厚生委員会等で健康情報 を社員へ周知 ・職場環境改善の一環と して生産性問診調査を実 施	・花王グループ健康宣言 に基いた、健康経営中期 計画の施策実行 ・定期的なトップからの 健康 <i>Message</i> 発信 ・社内技術を活用した健 康推進（社員と家族の健 康prj活動） ・健保と事業主の「スコ アリングレポート」や「 データヘルス計画」、「 健康経営度調査」等の情 報共有と課題解決に向け た審議の場を設定 ・人財育成及び課題発掘 の機会として医療専門Sお よび実務Sによる白書勉強 会・検討会を開催 ・月次・年次安全衛生・ 厚生委員会等で健康情報 を社員へ周知 ・職場環境改善の一環と して生産性問診調査を実 施	・花王グループ健康宣言 に基いた、健康経営中期 計画の施策実行 ・定期的なトップからの 健康 <i>Message</i> 発信 ・社内技術を活用した健 康推進（社員と家族の健 康prj活動） ・健保と事業主の「スコ アリングレポート」や「 データヘルス計画」、「 健康経営度調査」等の情 報共有と課題解決に向け た審議の場を設定 ・人財育成及び課題発掘 の機会として医療専門Sお よび実務Sによる白書勉強 会・検討会を開催 ・月次・年次安全衛生・ 厚生委員会等で健康情報 を社員へ周知 ・職場環境改善の一環と して生産性問診調査を実 施	・花王グループ健康宣言 に基いた、健康経営中期 計画の施策実行 ・定期的なトップからの 健康 <i>Message</i> 発信 ・社内技術を活用した健 康推進（社員と家族の健 康prj活動） ・健保と事業主の「スコ アリングレポート」や「 データヘルス計画」、「 健康経営度調査」等の情 報共有と課題解決に向け た審議の場を設定 ・人財育成及び課題発掘 の機会として医療専門Sお よび実務Sによる白書勉強 会・検討会を開催 ・月次・年次安全衛生・ 厚生委員会等で健康情報 を社員へ周知 ・職場環境改善の一環と して生産性問診調査を実 施	・花王グループ健康宣言 に基いた、健康経営中期 計画の施策実行 ・定期的なトップからの 健康 <i>Message</i> 発信 ・社内技術を活用した健 康推進（社員と家族の健 康prj活動） ・健保と事業主の「スコ アリングレポート」や「 データヘルス計画」、「 健康経営度調査」等の情 報共有と課題解決に向け た審議の場を設定 ・人財育成及び課題発掘 の機会として医療専門Sお よび実務Sによる白書勉強 会・検討会を開催 ・月次・年次安全衛生・ 厚生委員会等で健康情報 を社員へ周知 ・職場環境改善の一環と して生産性問診調査を実 施	・花王グループ健康宣言 に基いた、健康経営中期 計画の施策実行 ・定期的なトップからの 健康 <i>Message</i> 発信 ・社内技術を活用した健 康推進（社員と家族の健 康prj活動） ・健保と事業主の「スコ アリングレポート」や「 データヘルス計画」、「 健康経営度調査」等の情 報共有と課題解決に向け た審議の場を設定 ・人財育成及び課題発掘 の機会として医療専門Sお よび実務Sによる白書勉強 会・検討会を開催 ・月次・年次安全衛生・ 厚生委員会等で健康情報 を社員へ周知 ・職場環境改善の一環と して生産性問診調査を実 施	<目的> 健康経営の推進および社員と家族の健康維持・増進 <概要> ・事業主との健康課題・推進計画の共有と 施策検討 ・コラボヘルス健康事業による健診・レセ プトデータ分析検証 ・長時間労働者を対象に産業医と健康面談 を実施 社員と家族の健康維持増進をめざして、ア ウトプット指標は会議・検討会の計画に基 づく実施率。アウトカム指標は実施結果の 報告。	花王グループ健康宣言のもと、社 員と家族にむけた健康活動を展開 している									
													会議・検討会等の計画実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-												実施結果の報告(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-					
													加入者への意識づけ																	
保 健 指 導 宣 伝	5	既 存	健康情報提供 (広報誌)	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者,被扶 養者,任 意継続 者	1	キ,ス	-	ア,イ,シ	-	①年2回広報誌を発行し、 被保険者・任継続者へ 情報提供 ②社内イントラにて最新 情報の提供 ③退職前の健康教育およ び任継者へ郵送り健康情 報の提供	①年2回広報誌を発行し、 被保険者・任継続者へ 情報提供 ②社内イントラにて最新 情報の提供 ③退職前の健康教育およ び任継者へ郵送り健康情 報の提供	①年2回広報誌を発行し、 被保険者・任継続者へ 情報提供 ②社内イントラにて最新 情報の提供 ③退職前の健康教育およ び任継者へ郵送り健康情 報の提供	①年2回広報誌を発行し、 被保険者・任継続者へ 情報提供 ②社内イントラにて最新 情報の提供 ③退職前の健康教育およ び任継者へ郵送り健康情 報の提供	①年2回広報誌を発行し、 被保険者・任継続者へ 情報提供 ②社内イントラにて最新 情報の提供 ③退職前の健康教育およ び任継者へ郵送り健康情 報の提供	①年2回広報誌を発行し、 被保険者・任継続者へ 情報提供 ②社内イントラにて最新 情報の提供 ③退職前の健康教育およ び任継者へ郵送り健康情 報の提供	①年2回広報誌を発行し、 被保険者・任継続者へ 情報提供 ②社内イントラにて最新 情報の提供 ③退職前の健康教育およ び任継者へ郵送り健康情 報の提供	<目的> 健康・健保情報の発信、健康への意識の向 上 <概要> 機関誌の発行（年2回） 健保情報の発信のため、アウトプット指標 は発行回数。アウトカム指標は満足度調査 の実施。	生活習慣改善に取り組んでいる社員 は、令和4年度男性で28.8%、女 性で22.9%であり、微増傾向にあ る。									
													広報誌発行回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												満足度調査(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-					
													3,5,6	既 存	メンタルヘル ス管理者研修	全て	男女	35 ～ 74	被保険 者	3	ク,ケ	-	ア,イ,ウ,カ ,サ	-	・新任管理者のためのメン タルヘルス研修 (ベーシック・アドバン スコースの実施)	・新任管理者のためのメン タルヘルス研修 (ベーシック・アドバン スコースの実施)	・新任管理者のためのメン タルヘルス研修 (ベーシック・アドバン スコースの実施)	・新任管理者のためのメン タルヘルス研修 (ベーシック・アドバン スコースの実施)	・新任管理者のためのメン タルヘルス研修 (ベーシック・アドバン スコースの実施)	・新任管理者のためのメン タルヘルス研修 (ベーシック・アドバン スコースの実施)
ストレスチェック受診率(【実績値】97.0% 【目標値】令和6年度：97% 令和7年度：97% 令和8年度：97% 令和9年度：97% 令和10年度：97% 令和11年度：97%)-												高ストレス者率(【実績値】9.7% 【目標値】令和6年度：9% 令和7年度：9% 令和8年度：9% 令和9年度：9% 令和10年度：9% 令和11年度：9%)-																		
個別の事業																														
予算 措 置 な し	2,3	既 存	女性の健康サ ポート	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	2	イ,ウ,エ,オ ,キ,ク	-	ア,イ,エ,サ-	-	・ライフ <i>ステージ</i> に応じた女性 健康情報 <i>ポ</i> ート支援 ・産業医による個別相談 窓口の開設 ・がん検診受診の啓発と 復職支援 ・その他教育啓発	・ライフ <i>ステージ</i> に応じた女性 健康情報 <i>ポ</i> ート支援 ・産業医による個別相談 窓口の開設 ・がん検診受診の啓発と 復職支援 ・その他教育啓発	・ライフ <i>ステージ</i> に応じた女性 健康情報 <i>ポ</i> ート支援 ・産業医による個別相談 窓口の開設 ・がん検診受診の啓発と 復職支援 ・その他教育啓発	・ライフ <i>ステージ</i> に応じた女性 健康情報 <i>ポ</i> ート支援 ・産業医による個別相談 窓口の開設 ・がん検診受診の啓発と 復職支援 ・その他教育啓発	・ライフ <i>ステージ</i> に応じた女性 健康情報 <i>ポ</i> ート支援 ・産業医による個別相談 窓口の開設 ・がん検診受診の啓発と 復職支援 ・その他教育啓発	・ライフ <i>ステージ</i> に応じた女性 健康情報 <i>ポ</i> ート支援 ・産業医による個別相談 窓口の開設 ・がん検診受診の啓発と 復職支援 ・その他教育啓発	<目的> 女性特有がんの早期発見・早期治療 <概要> 年代・ライフ <i>ステージ</i> に応じた健康づくり 支援として情報発信や相談窓口の周知、がん 検診の啓発 女性特有がんの早期発見のため、アウトプ ット指標は子宮がん・乳がん検診受診率、 アウトカム指標は検診による発見率	女性は若年層のうちから乳がん・ 子宮がん罹患するケースが多い 。早期発見早期治療につなげるた め乳がん・子宮がん検診受診率を さらに高めていく。										
													子宮がん検診受診率(【実績値】81.7% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-												検診による発見率(【実績値】32.3% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)-					
													乳がん検診受診率(【実績値】90.7% 【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)-																	

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標													アウトカム指標							
特定健康 診査事業	3,4	既存 （法定）	特定健康診査 （被保険者）	全て	男女	35 ～ 74	被保険者	2	ア,イ,エ,オ ,キ,ク,ケ,コ	-	ア,イ,ク	-	・対象者への周知の徹底 ・未受診者フォローの強化 ・提携医療機関または事業所敷地内で実施される法定健診実施 ・生活習慣病健診にあわせて併用健診 ・健診結果より統計・分析等を行う ・健診結果に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・対象者への周知の徹底 ・未受診者フォローの強化 ・提携医療機関または事業所敷地内で実施される法定健診実施 ・生活習慣病健診にあわせて併用健診 ・健診結果より統計・分析等を行う ・健診結果に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・対象者への周知の徹底 ・未受診者フォローの強化 ・提携医療機関または事業所敷地内で実施される法定健診実施 ・生活習慣病健診にあわせて併用健診 ・健診結果より統計・分析等を行う ・健診結果に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・対象者への周知の徹底 ・未受診者フォローの強化 ・提携医療機関または事業所敷地内で実施される法定健診実施 ・生活習慣病健診にあわせて併用健診 ・健診結果より統計・分析等を行う ・健診結果に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・対象者への周知の徹底 ・未受診者フォローの強化 ・提携医療機関または事業所敷地内で実施される法定健診実施 ・生活習慣病健診にあわせて併用健診 ・健診結果より統計・分析等を行う ・健診結果に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・対象者への周知の徹底 ・未受診者フォローの強化 ・提携医療機関または事業所敷地内で実施される法定健診実施 ・生活習慣病健診にあわせて併用健診 ・健診結果より統計・分析等を行う ・健診結果に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	<目的> 健康維持増進・早期発見 <概要> 外部事業者に健診事務を代行し、提携医療機関または事業場内で集団検診にて受診。 健診受診率を上げて、生活習慣病の予防を図るため、アウトプット指標は特定健診受診率、アウトカム指標は正常群割合。	被保険者の特定健康診査受診率は93.6%、特定保健指導実施率は74.0%である。
	特定健診実施率(【実績値】98.5% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】11.1% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-						
	3,4	既存 （法定）	特定健康診査 （被扶養者）	全て	男女	35 ～ 74	被扶養者、任意継続者	1	イ,エ,オ,キ ,ク,ケ,コ	-	ア,イ,エ,コ	-	・提携医療機関および受診券による健診受診 ・生活習慣健診と同時健診案内 ・未受診者への受診勧奨 ・パート先での健診結果入手 ・今年度未申込者（前年度特定健診A受診者）へ特定健診受診券を送付 ・市町村が実施するがん検診の受診勧奨	・提携医療機関および受診券による健診受診 ・生活習慣健診と同時健診案内 ・未受診者への受診勧奨 ・パート先での健診結果入手 ・今年度未申込者（前年度特定健診A受診者）へ特定健診受診券を送付 ・市町村が実施するがん検診の受診勧奨	・提携医療機関および受診券による健診受診 ・生活習慣健診と同時健診案内 ・未受診者への受診勧奨 ・パート先での健診結果入手 ・今年度未申込者（前年度特定健診A受診者）へ特定健診受診券を送付 ・市町村が実施するがん検診の受診勧奨	・提携医療機関および受診券による健診受診 ・生活習慣健診と同時健診案内 ・未受診者への受診勧奨 ・パート先での健診結果入手 ・今年度未申込者（前年度特定健診A受診者）へ特定健診受診券を送付 ・市町村が実施するがん検診の受診勧奨	・提携医療機関および受診券による健診受診 ・生活習慣健診と同時健診案内 ・未受診者への受診勧奨 ・パート先での健診結果入手 ・今年度未申込者（前年度特定健診A受診者）へ特定健診受診券を送付 ・市町村が実施するがん検診の受診勧奨	・提携医療機関および受診券による健診受診 ・生活習慣健診と同時健診案内 ・未受診者への受診勧奨 ・パート先での健診結果入手 ・今年度未申込者（前年度特定健診A受診者）へ特定健診受診券を送付 ・市町村が実施するがん検診の受診勧奨	<目的> 健康維持増進・早期発見 <概要> 外部事業者に健診事務を代行し、提携医療機関または他健保との共同開催による集団検診 健診受診率を上げて、生活習慣病の予防を図るため、アウトプット指標は特定健診受診率、アウトカム指標は正常群割合	被扶養者の特定健診受診率は、順調に上昇傾向にあり、令和4年度は75.2%となった。引き続き積極的な受診勧奨を進めていく。また一人あたり医療費は増加傾向にあり、2次検査等の受診勧奨や生活習慣改善にむけて特定保健指導等の対応が必要。
特定健診実施率(【実績値】69.9% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】11.1% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-							
特定保健 指導事業	3,4	既存 （法定）	特定保健指導 （被保険者）	全て	男女	35 ～ 75	被保険者	3	イ,エ,オ,キ ,ク,ケ	-	ア,イ,コ,サ	-	・内製化および外部委託化で対応 ・受診対象者には人事責任者名で参加勧奨案内を行う。 ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・内製化および外部委託化で対応 ・受診対象者には人事責任者名で参加勧奨案内を行う。 ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・内製化および外部委託化で対応 ・受診対象者には人事責任者名で参加勧奨案内を行う。 ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・内製化および外部委託化で対応 ・受診対象者には人事責任者名で参加勧奨案内を行う。 ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・内製化および外部委託化で対応 ・受診対象者には人事責任者名で参加勧奨案内を行う。 ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・内製化および外部委託化で対応 ・受診対象者には人事責任者名で参加勧奨案内を行う。 ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	<目的> 生活習慣病改善によるメタボリックおよび予備群のリスク低減 <概要> 生活習慣病予防及び保健指導対象者の減少を目指すため、アウトプット指標は特定保健指導実施率、アウトカム指標は特定保健指導対象者割合	令和4年度は、被保険者・被扶養者とも特定保健指導率は上昇傾向にある。
	特定保健指導実施率(【実績値】69.6% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)-													特定保健指導対象者割合(【実績値】13% 【目標値】令和6年度：11% 令和7年度：11% 令和8年度：11% 令和9年度：11% 令和10年度：11% 令和11年度：11%)-						
	-													生活習慣（朝食抜き週3回以上率）男性(【実績値】24.8% 【目標値】令和6年度：22% 令和7年度：22% 令和8年度：22% 令和9年度：22% 令和10年度：22% 令和11年度：22%)-						
	-													生活習慣（朝食抜き週3回以上率）女性(【実績値】24.6% 【目標値】令和6年度：23% 令和7年度：23% 令和8年度：23% 令和9年度：23% 令和10年度：23% 令和11年度：23%)-						
	3,4	既存 （法定）	特定保健指導 （被扶養者）	全て	男女	35 ～ 74	被扶養者	1	イ,エ,オ,キ ,ク,ケ,コ	-	ア,イ,エ,ク ,コ,サ	-	・実施率向上のため複数コースより選択できる仕組みを導入（対面・ICT等） ・対象者にはわかりやすく、参加しやすくなるような表現を使用する ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・実施率向上のため複数コースより選択できる仕組みを導入（対面・ICT等） ・対象者にはわかりやすく、参加しやすくなるような表現を使用する ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・実施率向上のため複数コースより選択できる仕組みを導入（対面・ICT等） ・対象者にはわかりやすく、参加しやすくなるような表現を使用する ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・実施率向上のため複数コースより選択できる仕組みを導入（対面・ICT等） ・対象者にはわかりやすく、参加しやすくなるような表現を使用する ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・実施率向上のため複数コースより選択できる仕組みを導入（対面・ICT等） ・対象者にはわかりやすく、参加しやすくなるような表現を使用する ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	・実施率向上のため複数コースより選択できる仕組みを導入（対面・ICT等） ・対象者にはわかりやすく、参加しやすくなるような表現を使用する ・適宜進捗状況および完了後に振り返り検証を行う（PDCA展開）	<目的> 生活習慣病改善によるメタボリックおよび予備群のリスク低減 <概要> 外部委託および案内等は健保と外部委託機関と共同実施 生活習慣病予防に向け保健指導対象者の減少を目指すため、アウトプット指標は特定保健指導実施率、アウトカム指標は特定保健指導対象者割合	令和4年度は、被保険者・被扶養者とも特定保健指導率は上昇傾向にある。
特定保健指導実施率(【実績値】16.3% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-													特定保健指導対象者割合(【実績値】7.4% 【目標値】令和6年度：5.5% 令和7年度：5.5% 令和8年度：5.5% 令和9年度：5.5% 令和10年度：5.5% 令和11年度：5.5%)-							
疾病 予防	3	既存	生活習慣病健診 （被保険者）	全て	男女	35 ～ 74	被保険者	3	ア,イ,ウ,エ ,オ,キ,ク,ケ,コ	-	ア,イ,ウ,ク	-	・働く環境や職種に応じた健診機関選定 ・施設型健診・集団健診 ・がん検診も同時実施 ・安全衛生委員会等で進捗・結果状況周知 ・健診結果より分析・検証	・働く環境や職種に応じた健診機関選定 ・施設型健診・集団健診 ・がん検診も同時実施 ・安全衛生委員会等で進捗・結果状況周知 ・健診結果より分析・検証	・働く環境や職種に応じた健診機関選定 ・施設型健診・集団健診 ・がん検診も同時実施 ・安全衛生委員会等で進捗・結果状況周知 ・健診結果より分析・検証	・働く環境や職種に応じた健診機関選定 ・施設型健診・集団健診 ・がん検診も同時実施 ・安全衛生委員会等で進捗・結果状況周知 ・健診結果より分析・検証	・働く環境や職種に応じた健診機関選定 ・施設型健診・集団健診 ・がん検診も同時実施 ・安全衛生委員会等で進捗・結果状況周知 ・健診結果より分析・検証	・働く環境や職種に応じた健診機関選定 ・施設型健診・集団健診 ・がん検診も同時実施 ・安全衛生委員会等で進捗・結果状況周知 ・健診結果より分析・検証	<目的> 早期発見・早期治療 <概要> 35歳以上を対象として事業主と共同で実施。 がん検診も同時実施。 健診受診率を上げて、生活習慣病やがんの予防を図るため、アウトプット指標は健診受診率、アウトカム指標は正常群割合	被保険者の特定健康診査受診率は93.6%、特定保健指導実施率は74.0%である。 女性は若年層のうちから乳がん・子宮がんに罹患するケースが多い。早期発見早期治療につなげるため乳がん・子宮がん検診受診率をさらに高めていく。
	健診受診率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													正常群割合(【実績値】19.2% 【目標値】令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標													アウトカム指標							
	3,4	既存	生活習慣病健診（被扶養者）	全て	男女	35～（上限なし）	被扶養者,任意継続者	1	ア,イ,ウ,エ,オ,キ,ケ,コ	-	ア,イ,ク	-	・受診率向上のため5コースからの選択受診 ・年数回受診勧奨を実施 ・未受診者を扶養している社員へのアンケート調査実施	・受診率向上のため5コースからの選択受診 ・年数回受診勧奨を実施 ・未受診者を扶養している社員へのアンケート調査実施	・受診率向上のため5コースからの選択受診 ・年数回受診勧奨を実施 ・未受診者を扶養している社員へのアンケート調査実施	・受診率向上のため5コースからの選択受診 ・年数回受診勧奨を実施 ・未受診者を扶養している社員へのアンケート調査実施	・受診率向上のため5コースからの選択受診 ・年数回受診勧奨を実施 ・未受診者を扶養している社員へのアンケート調査実施	・受診率向上のため5コースからの選択受診 ・年数回受診勧奨を実施 ・未受診者を扶養している社員へのアンケート調査実施	<目的> 早期発見・早期治療 <概要> 35歳以上を対象として実施。がん検診も同時実施。全員の健康状態把握を目指すため、アウトプット指標は健診受診率、アウトカム指標は正常群割合	被扶養者の特定健診受診率は、順調に上昇傾向にあり、令和4年度は75.2%となった。引き続き積極的な受診勧奨を進めていく。また一人あたり医療費は増加傾向にあり、2次検査等の受診勧奨や生活習慣改善にむけて特定保健指導等の対応が必要。
健診受診率(【実績値】72.8% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-													正常群割合(【実績値】14% 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)-							
	3,4	既存	健診事後フォロー	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	3	ア,イ,ウ,エ,オ,キ,ク,ケ,シ	-	ア,イ,シ	-	・被保険者は事業主が主体となり、受診勧奨および二次検査指示を行なう ・被扶養者は健保が主体となり、受診勧奨および二次検査案内を行う ・ハイリスクかつ未治療者に対して早期に医療を受けてもらうよう受診を促す ・治療中断者に対して治療を再開してもらうよう促す	・被保険者は事業主が主体となり、受診勧奨および二次検査指示を行なう ・被扶養者は健保が主体となり、受診勧奨および二次検査案内を行う ・ハイリスクかつ未治療者に対して早期に医療を受けてもらうよう受診を促す ・治療中断者に対して治療を再開してもらうよう促す	・被保険者は事業主が主体となり、受診勧奨および二次検査指示を行なう ・被扶養者は健保が主体となり、受診勧奨および二次検査案内を行う ・ハイリスクかつ未治療者に対して早期に医療を受けてもらうよう受診を促す ・治療中断者に対して治療を再開してもらうよう促す	・被保険者は事業主が主体となり、受診勧奨および二次検査指示を行なう ・被扶養者は健保が主体となり、受診勧奨および二次検査案内を行う ・ハイリスクかつ未治療者に対して早期に医療を受けてもらうよう受診を促す ・治療中断者に対して治療を再開してもらうよう促す	・被保険者は事業主が主体となり、受診勧奨および二次検査指示を行なう ・被扶養者は健保が主体となり、受診勧奨および二次検査案内を行う ・ハイリスクかつ未治療者に対して早期に医療を受けてもらうよう受診を促す ・治療中断者に対して治療を再開してもらうよう促す	・被保険者は事業主が主体となり、受診勧奨および二次検査指示を行なう ・被扶養者は健保が主体となり、受診勧奨および二次検査案内を行う ・ハイリスクかつ未治療者に対して早期に医療を受けてもらうよう受診を促す ・治療中断者に対して治療を再開してもらうよう促す	<目的> 早期発見・早期治療 <概要> 健診後リスクが判明した方に積極的に支援を実施 リスク者減少を目指すため、アウトプット指標は受診勧奨者の医療機関受診率、アウトカム指標は疾患群の病態コントロール割合	被保険者の二次・再検査の受診率は約9割を超え、その結果を社内医療者が管理できている。被扶養者においては再検査等の受診勧奨案内のみとなっている。
受診勧奨者の医療機関受診率(【実績値】90.7% 【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)-													疾患群の病態コントロール割合（血圧）(【実績値】57.1% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)-							
													疾患群の病態コントロール割合（血糖）(【実績値】28.1% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-							
													疾患群の病態コントロール割合（脂質）（【実績値】43.9% 【目標値】令和6年度：45% 令和7年度：45% 令和8年度：45% 令和9年度：45% 令和10年度：45% 令和11年度：45%)-							
													電話健康アドバイス実施者の「要医療」判定の翌年度脱却率(【実績値】42.1% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)-							
	4	既存	シニア対策	全て	男女	45～74	被保険者,被扶養者,定年退職予定者,任意継続者	3	イ,エ,オ,カ,ク	-	ウ,エ,カ	-	・被保険者へ事業主が実施のセミナーにて健康啓発の情報提供を行う ・被保険者へ事業主が定年以降も健康的に働けるように58歳健康面談を実施 ・健康情報・重症化予防・医療費削減にむけた情報提供 ・年1回の健診を積極的に受診勧奨 ・退職後の健康に関する情報提供を実施 ・自治体が実施する健康づくりについて案内	・被保険者へ事業主が実施のセミナーにて健康啓発の情報提供を行う ・被保険者へ事業主が定年以降も健康的に働けるように58歳健康面談を実施 ・健康情報・重症化予防・医療費削減にむけた情報提供 ・年1回の健診を積極的に受診勧奨 ・退職後の健康に関する情報提供を実施 ・自治体が実施する健康づくりについて案内	・被保険者へ事業主が実施のセミナーにて健康啓発の情報提供を行う ・被保険者へ事業主が定年以降も健康的に働けるように58歳健康面談を実施 ・健康情報・重症化予防・医療費削減にむけた情報提供 ・年1回の健診を積極的に受診勧奨 ・退職後の健康に関する情報提供を実施 ・自治体が実施する健康づくりについて案内	・被保険者へ事業主が実施のセミナーにて健康啓発の情報提供を行う ・被保険者へ事業主が定年以降も健康的に働けるように58歳健康面談を実施 ・健康情報・重症化予防・医療費削減にむけた情報提供 ・年1回の健診を積極的に受診勧奨 ・退職後の健康に関する情報提供を実施 ・自治体が実施する健康づくりについて案内	・被保険者へ事業主が実施のセミナーにて健康啓発の情報提供を行う ・被保険者へ事業主が定年以降も健康的に働けるように58歳健康面談を実施 ・健康情報・重症化予防・医療費削減にむけた情報提供 ・年1回の健診を積極的に受診勧奨 ・退職後の健康に関する情報提供を実施 ・自治体が実施する健康づくりについて案内	・被保険者へ事業主が実施のセミナーにて健康啓発の情報提供を行う ・被保険者へ事業主が定年以降も健康的に働けるように58歳健康面談を実施 ・健康情報・重症化予防・医療費削減にむけた情報提供 ・年1回の健診を積極的に受診勧奨 ・退職後の健康に関する情報提供を実施 ・自治体が実施する健康づくりについて案内	<目的> 前期高齢者の健康維持と医療費削減 事業主主体のセミナーを通して、早い段階から今後のライフキャリアやライフプランについて考える機会を提供" <概要> シニアの健康維持増進 一人あたり医療費削減を目指すため、アウトプット指標は被扶養者（60歳以上）の健診受診率、アウトカム指標は前期高齢者一人あたり医療費	65歳以上のシニア層について医療費総額は横ばい、一人当たり医療費は低減傾向にある。一方で前期高齢者数は増加傾向にあるため、引き続き健診受診や生活習慣改善への働きかけが必要である。
被扶養者（60歳以上）の健診受診率(【実績値】75.9% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-													前期高齢者一人あたり医療費(【実績値】331,771円0円)-							
	3,4,5	既存	歯科検診・勸奨	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア,ウ,エ,オ,キ,ク,ケ,コ	-	ア,イ,カ,ク	-	・集団健診による補助金支給 ・厚労省基準に沿った結果判定基準に統一 ・遠隔者や被扶養者むけに「歯科健診センター」を通じての歯科健診を実施 ・年1回健診結果分析および問診データとの突合・保健事業へ展開	・集団健診による補助金支給 ・厚労省基準に沿った結果判定基準に統一 ・遠隔者や被扶養者むけに「歯科健診センター」を通じての歯科健診を実施 ・年1回健診結果分析および問診データとの突合・保健事業へ展開	・集団健診による補助金支給 ・厚労省基準に沿った結果判定基準に統一 ・遠隔者や被扶養者むけに「歯科健診センター」を通じての歯科健診を実施 ・年1回健診結果分析および問診データとの突合・保健事業へ展開	・集団健診による補助金支給 ・厚労省基準に沿った結果判定基準に統一 ・遠隔者や被扶養者むけに「歯科健診センター」を通じての歯科健診を実施 ・年1回健診結果分析および問診データとの突合・保健事業へ展開	・集団健診による補助金支給 ・厚労省基準に沿った結果判定基準に統一 ・遠隔者や被扶養者むけに「歯科健診センター」を通じての歯科健診を実施 ・年1回健診結果分析および問診データとの突合・保健事業へ展開	・集団健診による補助金支給 ・厚労省基準に沿った結果判定基準に統一 ・遠隔者や被扶養者むけに「歯科健診センター」を通じての歯科健診を実施 ・年1回健診結果分析および問診データとの突合・保健事業へ展開	<目的> 歯科疾患の早期発見 <概要> ・事業場・支社にて契約医療機関による集団検診の費用を補助、検診結果の分析。 ・歯科疾患の早期発見を目的としているため、歯科アウトプット指標は歯科検診率、アウトカム指標は定期的な歯科健診実施割合	令和4年度の歯科分析において、歯科の3年連続未受診者は58.9%と高い傾向にある。他健保と比較し、歯科の受療率は低い。歯科検診受診率も低い。
定期的な歯科健診実施割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-													患者一人あたり歯科医療費(【実績値】21,827円 【目標値】令和6年度：21,000円 令和7年度：21,000円 令和8年度：21,000円 令和9年度：21,000円 令和10年度：21,000円 令和11年度：21,000円)-							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
	5,8	既存	喫煙対策	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者	3	工,キ,ク,ケ	-	ア,イ,エ,ク	-	・禁煙補助(禁煙/ICT遠隔外来治療) ・各種キャンペーンによる啓発普及活動	・禁煙補助(禁煙/ICT遠隔外来治療) ・各種キャンペーンによる啓発普及活動	・禁煙補助(禁煙/ICT遠隔外来治療) ・各種キャンペーンによる啓発普及活動	・禁煙補助(禁煙/ICT遠隔外来治療) ・各種キャンペーンによる啓発普及活動	・禁煙補助(禁煙/ICT遠隔外来治療) ・各種キャンペーンによる啓発普及活動	・禁煙補助(禁煙/ICT遠隔外来治療) ・各種キャンペーンによる啓発普及活動	<目的> 社員の健康支援、社会から信頼される企業 <概要> 喫煙所の縮小化、禁煙を目的としたイベント開催、禁煙治療の費用サポート 男女とも全国平均より高い喫煙率を下げるために、アウトプット指標はオンライン禁煙達成率、アウトカムは喫煙率。	・喫煙率は年々減少傾向にあるが、女性の喫煙率は日本平均より高い傾向にあるため、さらに減少を目指していく			
オンライン禁煙達成率(【実績値】91.3% 【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)-												喫煙率（男性）(【実績値】24.80% 【目標値】令和6年度：21% 令和7年度：21% 令和8年度：21% 令和9年度：21% 令和10年度：21% 令和11年度：21%)-											
-												喫煙率（女性）(【実績値】15.6% 【目標値】令和6年度：13% 令和7年度：13% 令和8年度：13% 令和9年度：13% 令和10年度：13% 令和11年度：13%)-											
	5,8	既存	感染症予防対策	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1	工,キ,ケ	-	ア,イ,コ	-	・インフルエンザ予防接種実施・補助 ・予防にむけた情報発信（イントラ・冊子等） ・予防接種費用補助の対象および負担額検討	・インフルエンザ予防接種実施・補助 ・予防にむけた情報発信（イントラ・冊子等） ・予防接種費用補助の対象および負担額検討	・インフルエンザ予防接種実施・補助 ・予防にむけた情報発信（イントラ・冊子等） ・予防接種費用補助の対象および負担額検討	・インフルエンザ予防接種実施・補助 ・予防にむけた情報発信（イントラ・冊子等） ・予防接種費用補助の対象および負担額検討	・インフルエンザ予防接種実施・補助 ・予防にむけた情報発信（イントラ・冊子等） ・予防接種費用補助の対象および負担額検討	・インフルエンザ予防接種実施・補助 ・予防にむけた情報発信（イントラ・冊子等） ・予防接種費用補助の対象および負担額検討	<目的> 休業者および医療費抑制 <概要> 予防接種を受けた方に費用補助、予防に有効な情報発信、罹患率等の検証 感染症から家族、職場の健康を守るため、アウトプット指標は予防接種率、アウトカム指標は罹患率とする。	令和4年度のインフルエンザ予防接種補助申請は34.4%であった。予防接種受診により重症化防止効果があることから受診率を上げる必要がある。			
インフルエンザ予防接種率(【実績値】34.37% 【目標値】令和6年度：35% 令和7年度：35% 令和8年度：35% 令和9年度：35% 令和10年度：35% 令和11年度：35%)-												インフルエンザ罹患率(【実績値】2.5% 【目標値】令和6年度：5% 令和7年度：5% 令和8年度：5% 令和9年度：5% 令和10年度：5% 令和11年度：5%)-											
	2,5,7	既存	後発医薬品の使用促進／差額通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ,ケ,ス	-	ク	-	・後発医薬品の使用促進 ・差額通知の発送 ・啓発情報発信	・後発医薬品の使用促進 ・差額通知の発送 ・啓発情報発信	・後発医薬品の使用促進 ・差額通知の発送 ・啓発情報発信	・後発医薬品の使用促進 ・差額通知の発送 ・啓発情報発信	・後発医薬品の使用促進 ・差額通知の発送 ・啓発情報発信	・後発医薬品の使用促進 ・差額通知の発送 ・啓発情報発信	<目的> 医療費削減 <概要> 服薬者を対象に後発医薬品切替による自己負担削減効果を知り、また市販薬を活用するための情報提供 アウトプット指標は利用促進通知および情報提供回数、アウトカム指標は後発医薬品の数量シェア。	ジェネリック使用割合は高止まり傾向であり、目標の80%を超えている。			
利用促進通知および情報提供(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												後発医薬品の使用割合(【実績値】83.68% 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：85% 令和8年度：85% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)-											
	4	既存	適正服薬の取組	全て	男女	0～74	加入者全員,任意継続者	1	イ,キ,ク	-	イ,ウ,ク	-	・適正処方への服薬状況にて効果検証を行うに向けた個人通知を行い、通知後	・適正処方への服薬状況にて効果検証を行うに向けた個人通知を行い、通知後	・適正処方への服薬状況にて効果検証を行うに向けた個人通知を行い、通知後	・適正処方への服薬状況にて効果検証を行うに向けた個人通知を行い、通知後	・適正処方への服薬状況にて効果検証を行うに向けた個人通知を行い、通知後	・適正処方への服薬状況にて効果検証を行うに向けた個人通知を行い、通知後	<目的> 有害事象が疑われる群に気づきを促し、適正化することでリスクを削減する <概要> 処方されているお薬の飲み合わせに注意が必要な方へ通知として案内 アウトプット指標は適正服薬の情報提供。アウトカム指標は多剤通知後の削減率	・薬剤処方において有害事象の発生リスクが高まる「6剤」以上の併用が見られる加入者が10%以上存在している。 ・頻回受診が認められる加入者が、特に45歳以上に多く存在する。			
適正服薬の情報提供(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												多剤通知後の削減率(【実績値】37.0% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)-											
体育奨励	5	既存	健康づくり	全て	男女	0～（上限なし）	被保険者,被扶養者	3	ア,イ,オ,キ,ク,ケ	-	ア,イ,コ	-	・事業主より計画の提出 ・計画にあたっては、健診結果や前年健康づくり実施結果を振り返り立案する ・当年実施結果、優良事業場（優良活動）は事例の共有紹介を行う ・地域・自治体との連携した健康推進 ・個人にはイベント参加や達成に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・事業主より計画の提出 ・計画にあたっては、健診結果や前年健康づくり実施結果を振り返り立案する ・当年実施結果、優良事業場（優良活動）は事例の共有紹介を行う ・地域・自治体との連携した健康推進 ・個人にはイベント参加や達成に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・事業主より計画の提出 ・計画にあたっては、健診結果や前年健康づくり実施結果を振り返り立案する ・当年実施結果、優良事業場（優良活動）は事例の共有紹介を行う ・地域・自治体との連携した健康推進 ・個人にはイベント参加や達成に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・事業主より計画の提出 ・計画にあたっては、健診結果や前年健康づくり実施結果を振り返り立案する ・当年実施結果、優良事業場（優良活動）は事例の共有紹介を行う ・地域・自治体との連携した健康推進 ・個人にはイベント参加や達成に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・事業主より計画の提出 ・計画にあたっては、健診結果や前年健康づくり実施結果を振り返り立案する ・当年実施結果、優良事業場（優良活動）は事例の共有紹介を行う ・地域・自治体との連携した健康推進 ・個人にはイベント参加や達成に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	・事業主より計画の提出 ・計画にあたっては、健診結果や前年健康づくり実施結果を振り返り立案する ・当年実施結果、優良事業場（優良活動）は事例の共有紹介を行う ・地域・自治体との連携した健康推進 ・個人にはイベント参加や達成に応じて健康マイル（インセンティブポイント）を付与	<目的> 社員と家族の健康維持増進 <概要> ・全社および各事業場の健康課題に合わせた健康づくり事業を計画・実施 ・健康結果および活動に応じたインセンティブポイントの付与 アウトプット指標は健康づくり計画実施率、アウトカム指標は優良健康づくりの紹介。	被保険者について令和4年度の健診結果では、男女ともに肥満、メタボリックシンドローム該当者・予備群率が増加傾向。一方で、寝る前2時間以内の食事率や運動しない人の率などは改善している。朝食抜き週3以上率、1日あたり60分未満の歩行率は増えているため、男女ともに生活習慣改善アプローチを続けていく必要がある 職種や拠点、働く環境が多様化する中、自らの率先して健康づくり参加できる環境づくりを強化する			
	健康づくり計画実施率(【実績値】77% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-												生活習慣（運動をほとんどしない人の率）男性(【実績値】28.8% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-										
	-												生活習慣（運動をほとんどしない人の率）女性(【実績値】22.4% 【目標値】令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-										

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度				
アウトプット指標													アウトカム指標									
-														生活習慣（ぐっすり眠れない率）男性(【実績値】36.7%	【目標値】令和6年度：35%	令和7年度：35%	令和8年度：35%	令和9年度：35%	令和10年度：35%	令和11年度：35%)-		
-														生活習慣（ぐっすり眠れない率）女性(【実績値】39.4%	【目標値】令和6年度：36%	令和7年度：36%	令和8年度：36%	令和9年度：36%	令和10年度：36%	令和11年度：36%)-		

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ＩＣＴの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他